



Webホスティングサービス

# Applitus PLESK10.x

ご利用マニュアル

管理者向け

Ver 7.0

# NEOJAPAN

株式会社ネオジャパン

## はじめに

この度は「Applitus PLESK」サービスをご利用頂き、誠に有り難うございます。

本マニュアルには「Applitus PLESK」サービスのご利用にあたり、必要な情報が記載されております。さらに詳細な情報、最新情報につきましては、弊社ホームページでご確認、もしくは弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせ頂きますようよろしくお願い致します。

株式会社ネオジャパンホームページ URL

<http://www.neo.co.jp/>

Applitus ホームページ URL

<http://www.desknets.com/applitus/>

### 【お客様へのお願い】

1. ご利用のサービスを使用して、不特定多数の携帯電話メールアドレス、インターネットメールアドレス等へ大量メールの一斉送信行為は行わないようお願い申し上げます。サービス提供を行っている通信設備、あるいはサービスそのものに悪影響を与えるご利用については、直ちに停止させて頂くことになります。
2. お取引関係の無い、不明なメールアドレスから短時間に多くのメールが届いた場合、スパムメール(迷惑行為)と考えられる場合があります。多くの場合こういったメールは、そのままにしておくことと継続的になり、時として、特定のメールアドレスをめぐって集中的に送りつけられるといった悪質な行為を引き起こすことになります。万が一、知らない人から短時間に多くのメールが届いた場合には、お手数でもご連絡をいただき、ご相談くださいますようお願い申し上げます。

### 【緊急時の連絡体制について】

メールの送受信に重大な障害が発生した場合のお客様に対する緊急連絡体制を下記のとおりいたします。

#### ① 重大障害発生時の緊急連絡方法

- FAX によりご連絡いたします。
- FAX 番号のご登録が無い場合には、弊社営業時間内に限り電話にてご連絡いたします。
- FAX への送信をご希望されない場合には、弊社「Applitus メンテナンス・障害情報」のブログページに情経を掲載しておりますので、ご確認ください。

<http://info.applitus.com/php/dnblog/index.php?module=Blog&blog=m-info&rand=a4636>

#### ② 障害発生時から解消までの経過連絡

- 弊社「Applitus メンテナンス・障害情報」のブログページに経過報告を掲載していますので、ご確認ください。

<http://info.applitus.com/php/dnblog/index.php?module=Blog&blog=m-info&rand=a4636>

#### ③ 対応最終報告

- お客様アカウント「管理者メールアカウント」宛にご報告をメールにて配信いたします。  
お客様にご送付いたしました「登録完了通知書」の内容につきましては、「紛失」「第三者に漏洩」することが無いよう、厳重に管理保管して頂くようお願いいたします。

## 目次

第1章	ご利用に際してのご確認事項	5
第2章	基本サービス仕様	5
第3章	設定内容に関するご説明	6
第4章	「開通ご案内資料」をまず確認して下さい	8
第5章	管理者ログイン画面	9
第6章	管理者パスワードの変更	10
第1節	ログインをすると下記画面となります	10
第2節	ドメイン管理者パスワードの変更の方法	10
第7章	Applitus PLESK10 管理メニューの各機能	12
第1節	ホーム	12
第1項	リソース使用量の統計	13
第2項	ユーザ	13
第3項	ウェブサイトとドメイン	13
第4項	メール	14
第2節	ユーザ	14
第1項	ユーザ	14
■	アカウントの作成	14
■	ユーザアカウントの削除	15
第2項	ユーザ役割	16
第3節	ウェブサイトとドメイン	19
第1項	ファイルマネージャ	19
第2項	FTP アクセス	25
第3項	サイトセキュリティを保護する(SSL 証明書登録)	28
第4項	バックアップマネージャ(バックアップ)	28
第4節	メール	31
第5節	統計	39
第6節	アカウント	41
第8章	各種ソフトウェアの設定例	42
第1節	FTP ソフトの設定例(Windows 編)	42
第2節	メールソフトの設定例(Windows、Mac)	45
第9章	各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目	52
第10章	SPAM (スパム) 対策に関する注意事項	53
第1節	SPAM(スパム)フィルターとは?	53

---

第2節 ブラックリストとは？ .....	54
第3節 ブラックリストに載ってしまったら？ .....	54
第11章 お客様独自 CGI 及び PHP スクリプトの設置について.....	55
第1節 サーバ環境.....	55
■ コンテンツの転送方法.....	56
第2節 CGI スクリプトのご利用について.....	57
第3節 PHP スクリプトの利用について .....	59
第12章 ".htaccess"を用いた設定変更.....	60
第13章 スクリプト設置に関する注意事項.....	61
第14章 おかしいな？ と思ったら (Q&A) .....	62
第1節 管理画面について.....	62
第2節 メールについて .....	63
第3節 ウェブについて.....	65
第15章 お問い合わせ窓口 .....	66

---

## 第1章 ご利用に際してのご確認事項

通信事業者より届きます書類には、「Applitus PLESK」のご利用に関するサーバ情報等の各種設定に関わる情報と重複する項目もございます。重複する情報の取り扱いにつきましては本マニュアルご参照の上、『開通ご案内資料』の内容をまずはご確認ください。ご不明な点等ございましたら下記コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

**コミュニケーションセンター**

**Tel: 0120 - 365 - 800** (平日 9 時 00 分～12 時、13 時～18 時)

**Fax: 045-640-5918**

**Mail: [support@applitus.com](mailto:support@applitus.com)**

## 第2章 基本サービス仕様

基本サービス項目	内容
ディスク容量	Webスペース、メールスペースを合わせ、1契約あたり <b>40GB</b> の大容量。5GB単位での増設(オプション)が可能です。
メールアカウント	契約ディスク容量内で <b>200</b> アカウント持つことができます。メールアカウント毎の設定は、管理者やユーザで自在に管理できます。
メールウィルス対策	送受信メール双方のウィルスの検出・駆除・警告を標準(無料)でご提供いたします。常に最新のウィルスに対応しています。
スパムフィルタリング	迷惑メール・攻撃メールなどのSPAM(スパム)メールからお客様を守ります。
豊富なサービスを標準装備	基本サービスに含まれています。
メール機能	メールサービス標準機能
メール送受信・転送最大容量設定	各機能最大15MBとなります。
メールグループ(同報通信)	予め登録されたメンバーへの同報配信が可能です。
メール転送機能	お客様のご都合にあわせ、自在にメールの転送を設定できます。個人のコントロールパネルから設定も簡単です。メールグループに新規メンバーを追加することで無制限に設定が可能です。
自動返信設定	不在時の自動返信設定機能。テキストメールだけでなく、添付ファイルもご利用になれます。個人のコントロールパネルから設定も簡単です。
管理者メール設定	優れたGUIによるコントロールパネルで、メール機能の設定変更、管理者通知機能などを管理できます。
エンドユーザメール設定	エンドユーザ個別にコントロールパネルを設定。メールグループや自動返信、転送などの機能設定をはじめ、パスワード変更もできます。
Webホスティング機能	Webホスティング標準機能
Webコントロールパネル	ファイルの作成、削除、転送、編集、アクセス権限の変更をコントロールパネルより設定。
Web基本認証	特定のユーザのみにアクセスを許可するパスワード認証機能。
お客様独自のCGIスクリプト(sh、perl)、PHPスクリプトに対応	お客様独自のCGIスクリプト・PHPスクリプトも設置可能です。 ※但しお客様独自のCGIスクリプトは動作保障対象外
アクセスログ	アクセス状況に関するさまざまな分析が可能になります。(access log、access ssl log、error log、error ssl logの取得が可能)
バックアップ・リストア対応	お客様ご自身で、サーバ上のデータをバックアップ・リストア(復元)できます。
コミュニケーションセンター(サポートセンター)をご用意	各種サービスのご利用方法からそれに伴うパソコンの設定・操作方法まで、豊富なノウハウと高いスキルを持った専門スタッフが丁寧にお答えします。

---

### 第3章 設定内容に関するご説明

弊社「Applitus PLESK10」をご利用頂くには、必ず下記の2つの設定を行って頂く必要があります。

(1) 管理者よりメール機能から全ユーザーのアカウント設定

(メールアドレス、パスワード等)

(2) ユーザーが個別に行って頂く「メールソフト」「ブラウザソフト」等の端末側の設定。

「開通ご案内資料」および「本ご利用サービスマニュアル」をご確認の上、設定下さい。

ご不明な点等ございましたら弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

ご注意！！

#### SMTP 認証について

弊社のサービスでは、SPAM メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず SMTP 認証を必要とさせていただいております。「SMTP 認証:メールソフトの設定にある送信時認証機能を利用する」、という方法です。

**SMTP 認証**とは、メールの送信時に都度送信者の認証を行う仕組みのことをいいます。送信時の認証により、Applitus Server VALUE サーバのネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メール(\*)の発信を防ぐことができます。

お客様の作業としましては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)WindowsLive メールの場合は P.46 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。

#### SPAM(スパム)メールとは

SPAM(スパム)メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メール、メールサーバのダウンを狙った架空の宛先への大量メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウィルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM(スパム)メールに含まれます。

これらSPAM(スパム)メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまいます。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM(スパム)メール被害を防ぐ為、POP 認証、もしくは SMTP 認証等の事前認証方式を採用しております。また、SPAM フィルタを登録し、SPAM(スパム)メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。

## 第4章 「開通ご案内資料」をまず確認して下さい

弊社よりお届け致します「開通ご案内資料」の説明をよくご確認の上、管理画面の設定を行ってください。

### 管理ツール

PLESK	https:// XXX:8443	
	ID	XXX.odasX.jp
	PW	*****

### メールサーバ設定

POP サーバ名	mail.XXX
SMTP サーバ名	mail.XXX
送信サーバ(SMTP)ポート番号	587 SMTP 認証(25 番はご利用いただけません。)

### FTP アカウント設定

FTP ホスト名(IP)	ftp. XXX. 123.456.789.10
FTP ID	XXX
FTP PW	*****
ドキュメントルート	/httpdocs

#### ■ 管理ツール

PLESK 管理画面にログインする際の URL になります。

ログインする為の ID,PW が記載されます。

\* 管理者 ID は変更不可能ですが、パスワードにつきましてはホーム画面より変更が可能です。

#### ■ メールサーバ設定

メールソフトにアカウント設定する際のメールサーバ名になります。

また送信時のポート番号が記載されています。送信サーバは「587」ポートをご利用ください。

※ 弊社は、セキュリティを確保する為、SMTP 認証という認証システムを採用しております。弊社の SMTP サーバをお使い頂く際には、メールを送信する前に事前認証を受けないと、メールの送信ができないようになっております。

#### ■ FTP (file transfer protocol) アカウント設定

ホームページ関連のデータを WWW サーバにアップロードする際、必要となるホスト名及び ID,PW が記載されます。

\* FTPID 及びパスワードにつきましてはホーム画面より変更が可能です。

ホームページ関連データは「httpdocs」フォルダ内にアップロードください。

## 第5章 管理者ログイン画面

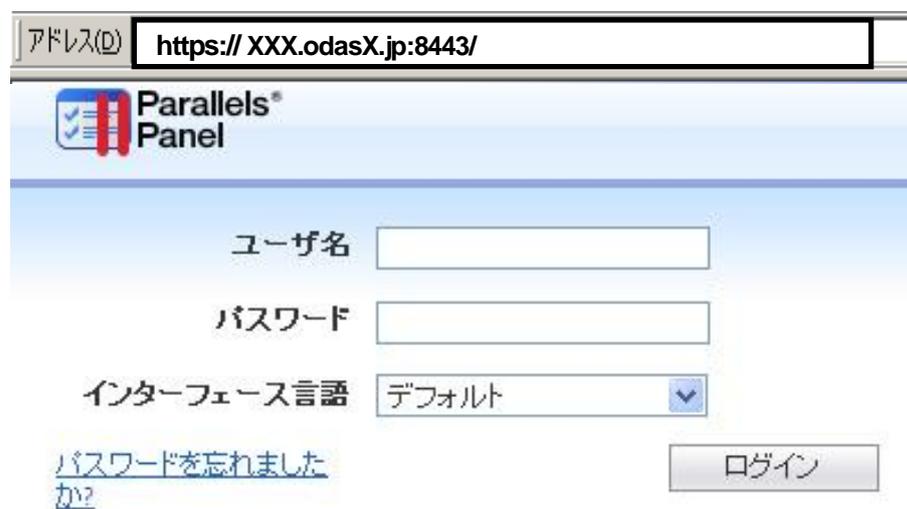
管理者ログイン画面への URL

`https://XXX:8443/`

注1: 「XXX」にはお客様指定のドメイン名、又はご利用サーバの IP アドレスが入ります。開通ご案内資料でご確認ください。

注2: https の通信に TCP8443 番ポートを使用しますので、プロキシ側で SSL ポートに 8443 番を加えてく

上記アドレスを入力ください。下記「管理者ログイン画面」が表示されます。



アドレス(D) `https:// XXX.odasX.jp:8443/`

Parallels®  
Panel

ユーザ名

パスワード

インターフェース言語  ▼

[パスワードを忘れましたか?](#)

登録完了通知に有ります「ID」をログイン欄へ、「管理者パスワード」をパスワード欄へ入力しログインします。

管理者ログイン画面への接続には下記ブラウザが利用可能です。

## 【動作環境】

- Firefox 3.5、4.0
- Microsoft Internet Explorer 7、8、9
- Safari 4.0 以降
- Google Chrome 10.x 以上

## 第6章 管理者パスワードの変更

### 第1節 ログインをすると下記画面となります

Parallels Panel  
ログイン名: ドメイン管理者 (neojap...  
契約 neojapan.com

ヘルプ 検索...

ホーム ユーザ ウェブサイトとドメイン メール 統計 アカウント

**リソース使用量の統計**  
ディスク領域およびトラフィック使用量の詳細レポートをサービス別および月別に表示します。  
ディスク領域: 40.0 GB 中、122 MB 使用 (0%)  
トラフィック: 無制限 中、87.8 KB/月 使用  
その他 >>

**ウェブサイトとドメイン**  
ドメイン名を追加してウェブサイトを設定します。ウェブサイトコンテンツを管理して、ウェブサイト訪問者の統計を表示します。  
neojapan.com  
• ファイルマネージャ  
• 統計  
• SSL 証明書でサイトをセキュアにする  
その他 >>

**ユーザー**  
ユーザーアカウントとユーザー役割を作成および管理します。インストール済みアプリケーションをユーザー役割に割り当てます  
• ユーザーアカウント  
• ユーザー役割  
• ユーザーアカウントの作成  
• ユーザー役割の作成  
その他 >>

**メール**  
メールアドレスとメールリストを作成します。転送、メールエイリアス、自動返信、およびスパムとウイルスからの保護を設定します。  
• メールアドレス  
• メールアドレスの作成  
その他 >>

### 第2節 ドメイン管理者パスワードの変更の方法

管理者パスワードを変更する場合は上段の「ユーザー」タブをクリックして、「テスト管理者」を選択してください。

Parallels Panel  
ログイン名: テスト管理者  
契約 neojapan.com

ヘルプ 検索...

ホーム ユーザ ウェブサイトとドメイン メール 統計 アカウント

ユーザーアカウント

ユーザーアカウント ユーザー役割

他のユーザーに対して、Panelにアクセスしてウェブサイトやインストール済みアプリケーションの管理や、自分のドメイン下のメールサービスの使用することを許可するには、ユーザーアカウントを作成する必要があります

ユーザーアカウントの作成 削除

合計: 1個 1ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	担当者名 ▲	メールアドレス	役割
<input checked="" type="checkbox"/>	テスト管理者	test@neojapan.com	所有者

合計: 1個 1ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

次画面より「設定を変更」をクリックします。

テスト管理者 上へ

ユーザー設定とパーミッションの概要です。

設定を変更

全般

担当者名	テスト管理者	電話番号	0120-365-800
メールアドレス	test@neojapan.com	インスタントメッセージャー	

セキュリティ保護のために、定期的にパスワードをご変更下さい。

ユーザの概要  
 テスト管理者 上へ

全般 連絡先の詳細

---

**一般情報**

担当者名 テスト管理者

メールアドレス \*  自分のアカウント下にメールアドレスを作成する  
 @neojapan.com  
 外部メールアドレスを使用する

ユーザ役割   
 あるユーザ役割が付与されたユーザは、この役割に対して選択されている管理者権限およびアプリケーションへのアクセス権が付与されます。

契約へのアクセス   
 ユーザに対し、指定した契約へのアクセスのみを許可します。「すべて」を選択すると、ユーザはホスティングアカウント内のすべての契約にアクセス可能になります。

---

**Panelのプリファレンス**

ユーザ名

パスワード   (?)

パスワードを確認する

Panelの言語

アクティブなユーザ  
 有効なユーザがパネルにアクセスできます

---

\* 必須フィールド

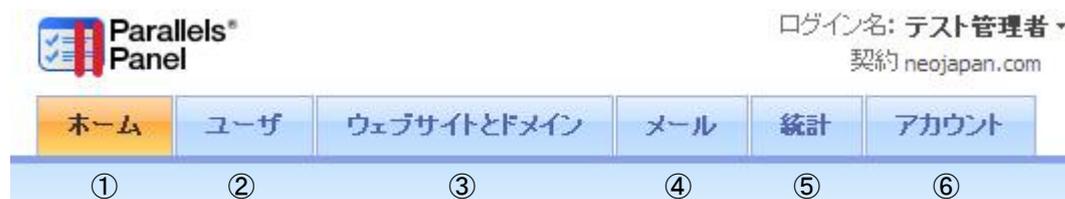
**パスワード**  
 管理画面に入るためのログインパスワード。  
 同じパスワードを2度ご入力ください。

こちらの画面でパスワードの変更を行うことができます。

- ① パスワード欄とパスワードを確認欄に同じ任意の文字列 5文字以上 14文字以内のパスワードを入力します。
- ② 入力をやり直したい場合や間違っ入力してしまった時は「キャンセル」ボタンをクリックし、再度①から作業してください。
- ③ OKをクリックして変更を保存してください。
- ④ ホーム画面に戻ります。

## 第7章 Applitus PLESK10 管理メニューの各機能

Applitus PLESK 管理メニューでは各タブをクリックすると以下タブの機能が利用可能となります。



- ① ホーム画面 第1節(ホーム)
- ② ユーザ管理機能 第2節(ユーザ)
- ③ ホスティング管理機能 第3節(ウェブサイトとドメイン)
- ④ メールサーバ機能 第4節(メール)
- ⑤ リソース使用状況 第5節(統計)
- ⑥ リソース割り当て、ホスティングオプション等の確認 第6節(アカウント)

### 第1節 ホーム

ログイン後に表示される画面です。代表的な機能にホームからアクセスできます。また、全ての機能は、それぞれ上部のタブをクリックすると表示されます。



## 第1項 リソース使用量の統計



### リソース使用量の統計

ディスク領域およびトラフィック使用量の詳細レポートをサービス別および月別に表示します。

ディスク領域	40.0 GB 中、122 MB 使用 (0%)
トラフィック	無制限 中、87.8 KB/月 使用

[その他 >>](#)

- ディスク領域(Applitus サービスのディスク使用量の確認)
- トラフィック(トラフィック量の確認)
- その他(統計機能へ推移します)

※詳細は第5節(統計)をご参照ください

## 第2項 ユーザ



### ユーザ

ユーザアカウントとユーザ役割を作成および管理します。インストール済みアプリケーションをユーザ役割に割り当てます

- [ユーザアカウント](#)
- [ユーザ役割](#)
- [ユーザアカウントの作成](#)
- [ユーザ役割の作成](#)

[その他 >>](#)

- ユーザアカウント(ユーザアカウントの作成やユーザ役割設定画面に推移します)
- ユーザアカウントの作成(ユーザアカウント作成画面に推移します)
- ユーザ役割(ユーザ役割機能へ推移します)
- ユーザ役割の作成(ユーザ役割の作成画面へ推移します)
- その他(ユーザ機能へ推移します)

※詳細は第2節(メール)をご参照ください

## 第3項 ウェブサイトとドメイン



### ウェブサイトとドメイン

ドメイン名を追加してウェブサイトを設定します。ウェブサイトコンテンツを管理して、ウェブサイト訪問者の統計を表示します。

neojapan.com

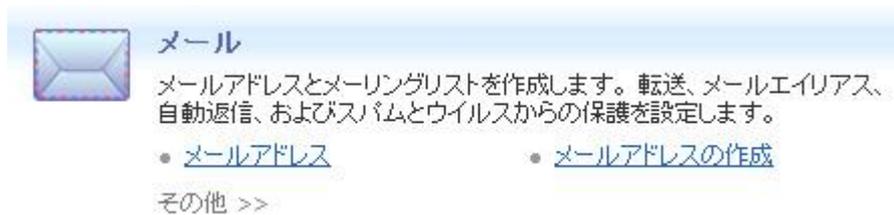
- [ファイルマネージャ](#)
- [統計](#)
- [SSL証明書でサイトをセキュアにする](#)

[その他 >>](#)

- ファイルマネージャ(ファイルマネージャ機能へ推移します)
- SSL証明書でサイトをセキュアにする(SSL証明書機能へ推移します)
- 統計(本サービスではご利用できません)

- その他(ウェブサイトとドメイン機能へ推移します)  
※詳細は第3節(ウェブサイトとドメイン)をご参照ください

## 第4項 メール



メールアドレスとメールリングリストを作成します。転送、メールエイリアス、自動返信、およびスパムとウイルスからの保護を設定します。

- [メールアドレス](#)
- [メールアドレスの作成](#)

その他 >>

- メールアドレス(メール機能へ推移します)
  - メールアドレスの作成(メールアドレス作成画面へ推移します)
  - その他(メール機能へ推移します)
- ※詳細は第4節(メール)をご参照ください

## 第2節 ユーザ

お客様関係者にコントロールパネルへのアクセスを許可する場合、こちらでユーザー登録、各アクセス権(役割)の設定を行います。

※コントロールパネルへのアクセス、設定等は管理者ユーザのみで、一般ユーザ(関係者等)からアクセスさせない場合は本機能は特に関係ございません。



### 第1項 ユーザ

ユーザアカウントを管理する画面となります。

#### ■ アカウントの作成

##### 1) 「ユーザアカウント作成をクリックする」



ユーザアカウント

ユーザアカウント ユーザ役割

他のユーザに対して、Panelにアクセスしてウェブサイトやインストール済みアプリケーションの管理や、自分のドメイン下のメールサービスの使用することを許可するには、ユーザアカウントを作成する必要があります

[ユーザアカウントの作成](#) [削除](#)

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	担当者名 ▲	メールアドレス	役割
<input type="checkbox"/>	テスト管理者	test@neojapan.com	所有者
<input type="checkbox"/>	ドメイン管理者(neojapan.com)	postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

##### 2) ユーザーアカウントの作成画面で以下項目を入力して OK 押下する

## ユーザアカウントの作成



## 一般情報

担当者名 \*

Panel へのログインユーザ名としても使用されるメールアドレス \*  自分のアカウント下にメールアドレスを作成する  
 @neojapan.com  
 外部メールアドレスを使用する

ユーザ役割   
あるユーザ役割が付与されたユーザは、この役割に対して選択されている管理者権限およびアプリケーションへのアクセス権が付与されます。

契約へのアクセス   
ユーザに対し、指定した契約へのアクセスのみを許可します。「すべて」を選択すると、ユーザはホスティングアカウント内のすべての契約にアクセス可能となります。

Panel のプリファレンス

ユーザ名

パスワード \*   (0)

パスワードを確認する \*

アクティブなユーザ  
有効なユーザがパネルにアクセスできます

\* 必須フィールド

OK

キャンセル

## ● 担当者名

コントロールパネルへのアクセスする担当者名を入力

## ● Panel へのログインユーザ名としても使用されるメールアドレス

以下 2 パターンから選択して入力したメールアドレスがログイン時の ID となります

- (ア) 自分のアカウント下にメールアドレスを作成する
- (イ) 外部メールアドレスを使用する

## ● ユーザ役割

ユーザ役割を選択します

※ユーザ役割の登録方法は「第3項ユーザ役割」をご参照ください

## ● 契約へのアクセス

Applitus サービスでは特に指定する必要はございません。「すべて」の選択で問題ございません

## ● パスワード

コントロールパネルへログインするパスワードを設定します

## ■ ユーザアカウントの削除

ユーザアカウントの一覧より削除するアカウントにチェックを入れ、「削除」を押下

## ユーザアカウント

ユーザアカウント ユーザ役割

他のユーザに対して、Panelにアクセスしてウェブサイトやインストール済みアプリケーションの管理や、自分のドメイン下のメールサービスの使用することを許可するには、ユーザアカウントを作成する必要があります

ユーザアカウントの作成 **削除**

合計 3 個

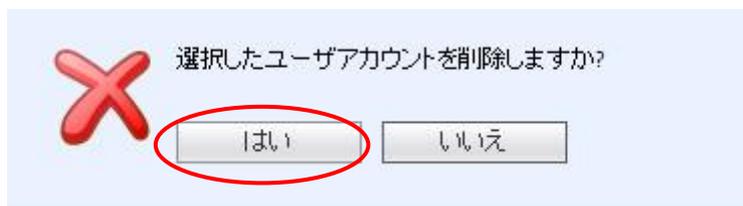
1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/> 担当者名 ▲	メールアドレス	役割
<input type="checkbox"/> テスト管理者	test@neojapan.com	所有者
<input type="checkbox"/> ドメイン管理者 (neojapan.com)	postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 山田太郎	yamada@neojapan.com	所有者

合計 3 個

1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

確認画面で「はい」を押下



## 第2項 ユーザ役割

ユーザアカウントに割り当てる、ユーザ役割を管理する画面となります。

### ■ ユーザ役割の登録

1) 「ユーザ役割の作成」を押下

## ユーザ役割

ユーザアカウント ユーザ役割

貴社のアカウントでホスティングされているアプリケーションやサービスへのアクセス権をユーザに付与するには、このユーザに役割を割り当ててください。複数のユーザ役割があらかじめ定義されています。これらを変更することも、独自の役割を作成することもできます。

ユーザ役割の作成 **削除**

合計 3 個

1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/> 役割名 ▲	ユーザ
<input type="checkbox"/> 会計担当者	0
<input type="checkbox"/> 所有者	2
<input type="checkbox"/> ドメイン管理者	1

合計 3 個

1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

2) ユーザ役割名、各 Panel サービスへのアクセス権を設定後、OK 押下

## ユーザ役割の作成



この役割のすべてのユーザに、インストール済みアプリケーションまたは Panel サービスへのアクセスを定義します。アプリケーションへのアクセス権をユーザに付与すると、ユーザはコントロールパネルでこのアプリケーションを使用できるようになります。

## 全般

ユーザ役割名 \*

Panel サービスへのアクセス

ユーザと役割の管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
サイトの作成と管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
スケジュール済みタスクの作成と管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
スパムフィルタの設定	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
アンチウイルスの設定	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
データベースの作成と管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
データのバックアップおよび復元の構成および実行	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
統計の表示	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
アプリケーションのインストールと管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
Web Presence Builder でのサイトデザイン	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
ファイルのアップロードと管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
追加 FTP アカウントの作成と管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み
メールアカウントの作成と管理	<input type="radio"/> 許可	<input checked="" type="radio"/> 却下済み

\* 必須フィールド

OK

キャンセル

- ユーザの役割の管理  
却下済みとした場合、ユーザ機能が非表示になります
- サイトの作成と管理  
却下済みとした場合、ウェブサイトとドメイン機能の「サイトをセキュリティ保護する」と「ウェブホスティングアクセス」を非表示にします。
- スケジュール済みタスクの作成と管理  
Applitus サービスでは本機能は利用できません(許可に設定されても利用はできません)
- スпамフィルタの設定  
却下済みとした場合、メール機能の「スパムフィルタ」が非表示になります
- アンチウイルスの設定  
却下済みとした場合、メール機能の「アンチウイルス」が非表示になります
- データベースの作成と管理  
Applitus サービスでは本機能は利用できません(許可に設定されても利用はできません)
- データのバックアップおよび復元の構成および実行  
却下済みとした場合、ウェブサイトとドメイン機能の「バックアップマネージャ」が非表示になります
- 統計の表示  
却下済みとした場合、統計機能が非表示になります
- アプリケーションのインストールと管理  
Applitus サービスでは本機能は利用できません(許可に設定されても利用はできません)
- Web Presence Builder でのサイトデザイン  
Applitus サービスでは本機能は利用できません(許可に設定されても利用はできません)

- ファイルのアップロードと管理  
却下済みとした場合、ウェブサイトとドメイン機能の「ファイルマネージャ」が非表示になります
- 追加 FTP アカウントの作成と管理  
却下済みとした場合、ウェブサイトとドメイン機能の「FTP アクセス」が非表示になります
- メールアカウントの作成と管理  
却下済みとした場合、メール機能のメールアドレスの作成、編集が利用不可となります  
※ログインユーザー自身のアカウントの編集等は可能

## ■ ユーザ役割の削除

ユーザ役割一覧より削除する役割名にチェックを入れ、「削除」を押下

ユーザ役割

ユーザアカウント ユーザ役割

貴社のアカウントでホスティングされているアプリケーションやサービスへのアクセス権をユーザに付与することは、このユーザに役割を割り当ててください。複数のユーザ役割があらかじめ定義されています。これらを変更することも、独自の役割を作成することもできます。

ユーザ役割の作成 **削除**

合計 4個 1ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/> 役割名 ▲	ユーザ
<input type="checkbox"/> 会計担当者	1
<input type="checkbox"/> 所有者	1
<input checked="" type="checkbox"/> test	0
<input type="checkbox"/> ドメイン管理者	1

確認画面で「はい」を押下

**×** 選択したユーザ役割を削除しますか?

## 第3節 ウェブサイトとドメイン

Web ホスティングサービス管理メニューになります。

ホーム
ユーザ
ウェブサイトとドメイン
メール
統計
アカウント

### ウェブサイトとドメイン

ウェブサイトのセットアップと管理を行います。アカウントに複数の契約が関連付けられている場合、画面上部で契約を選択すると、ある契約から他の契約へ切り替えることができます。1つの契約で多数のウェブサイトホスティングができるため、追加の契約を購入する必要はありません。

**ファイルマネージャ**  
新しいファイルをアップロードして、ウェブサイトの現行ファイルとディレクトリで作業します

**FTPアクセス**  
FTP プロトコルを介してウェブサイトのファイルへのアクセスを設定します

**サイトをセキュリティ保護する**  
SSL 証明書を使用して、ウェブサイトへの接続をセキュリティ保護します。

**バックアップマネージャ**  
ドメインのバックアップと復元を、ウェブサイトとメールアカウントの設定とコンテンツごとに行います。

**ウェブホスティングアクセス**  
IP アドレス: 182.236.107.248  
SSH または RDP 経由の Panel へのリモートアクセスに使用されるシステムユーザアカウントの設定を変更し、ファイルマネージャ内のファイルとフォルダを操作します。

▶ 高度なオペレーションを表示する

### 第1項 ファイルマネージャ

ファイルマネージャを使用してドメイン内のファイルやディレクトリを管理することができます。

ファイルマネージャは、コンテンツファイルのアップロード機能をはじめ、パーミッション設定の変更や新規ファイル(フォルダ)の作成も可能となっています。



**ファイルマネージャ**

新しいファイルをアップロードして、ウェブサイトの現行ファイルとディレクトリで作業します

#### ■ ファイルマネージャ機能へのアクセス

ファイルマネージャ機能にアクセスするために、ウェブサイトとドメイン内の「ファイルマネージャ」アイコンをクリックしてください。ファイルマネージャページが開き、ディレクトリとコンテンツが表示されます。

## ツール



## ファイル

削除 △  
 タイムスタンプの変更  
 コピー 移動  
 サイズ  
 ファイルの抽出 検索を  
 アーカイブに追加

全 18 件の [neojapan.com](#) アイテム

ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/>	T	名前 ▲	サイズ	ツール	パーミッション	変更日時	ユーザ	グループ
		..	4.00 KB			2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		anon_ftp	4.00 KB		rwxr-x---	2月 17, 2012	postmaster	psaserv
<input type="checkbox"/>		bin	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		cgi-bin	4.00 KB		rwxr-x---	2月 17, 2012	postmaster	psaserv
<input type="checkbox"/>		conf	4.00 KB		rwxr-x---	2月 17, 2012	root	psaserv
<input type="checkbox"/>		dev	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		error_docs	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	psaserv
<input type="checkbox"/>		etc	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		<b>htdocs</b>	4.00 KB		rwxr-x---	2月 17, 2012	postmaster	psaserv
<input type="checkbox"/>		lib	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		pd	4.00 KB		rwxr-x---	2月 17, 2012	root	psaserv
<input type="checkbox"/>		private	4.00 KB		rwx---	2月 17, 2012	postmaster	root
<input type="checkbox"/>		statistics	4.00 KB		r-xr-x---	2月 17, 2012	postmaster	psaserv
<input type="checkbox"/>		subdomains	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	psaserv
<input type="checkbox"/>		tmp	4.00 KB		rwxrwxrwx	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		usr			rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		var			rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		web_users			rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	psaserv

※HP のコンテンツは「htdocs」へアップロードして下さい。

全 18 件の [neojapan.com](#) アイテム

ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

### ■ ファイルの参照

以下がホームページデータの転送先「htdocs」の初期状態です。

ファイルアイコンをクリックすることで、対象ファイルの記述内容を参照できます。

例としてトップページの HTML ファイル「index.html」を参照するため、リンクをクリックします。

全 11 件のneojapan.com / httpdocs アイテム

ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	T	名前 ▲	サイズ	ツール	パーミッション	変更日時	ユーザ	グループ
<input type="checkbox"/>		..	4.00 KB			2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		css	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		img	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		neoimage	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		neopub	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		neores	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		picture_library	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		plesk-stat	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		test	4.00 KB		rwXr-Xr-X	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		favicon.ico	4.00 KB		rw-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		index.html	12.0 KB		rw-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psachn

全 11 件のneojapan.com / httpdocs アイテム

ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

「index.html」のソースを参照することができます。

ファイル [neojapan.com / httpdocs / index.html](#) の表示

以下のエンコーディングでオリジナルファイルを表示する:

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd"
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="en" lang="en">
<head>
<title>Domain Default page</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" />
<meta http-equiv="Cache-Control" content="no-cache" />
<link rel="shortcut icon" href="favicon.ico" type="image/x-icon" />
<link rel="icon" href="favicon.ico" type="image/x-icon" />
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/style.css" />
<script type="text/javascript">
//
document.write('&lt;script language="javascript" type="text/javascript" src="http://' + (location.hostname.indexOf(':')
//]]&gt;
&lt;/script&gt;
&lt;/head&gt;
&lt;body&gt;
&lt;div class="page"&gt;
&lt;div class="header clear"&gt;
&lt;script type="text/javascript"&gt;
//<![CDATA[
if (window.product_copyrights) { document.write('&lt;a class="company-logo" href="http://www.parallels.com"&gt;Par
//]]&gt;
&lt;/script&gt;
&lt;div class="header-area"&gt;
&lt;h1&gt;&lt;a class="product-logo" href="http://www.parallels.com/products/panel/intro" title="Parallels Plesk Pane
&lt;span class="header-text"&gt;
&lt;script type="text/javascript"&gt;
//<![CDATA[
if (window.product_copyrights) {
document.write('&lt;a class="top-copyright" href="http://www.parallels.com"&gt;&amp;copy; 1999-2011. Parallels&lt;br
}
//]]&gt;
&lt;/script&gt;
&lt;/span&gt;
&lt;/div&gt;
&lt;/div&gt;
&lt;div id="body" class="clear"&gt;
&lt;div class="box"&gt;
&lt;em class="tl"&gt;&lt;/em&gt;&lt;em class="tr"&gt;&lt;/em&gt;&lt;em class="bl"&gt;&lt;/em&gt;&lt;em class="br"&gt;&lt;/em&gt;
&lt;div class="content"&gt;
&lt;div class="globe"&gt;&lt;/div&gt;
&lt;div class="welcome"&gt;
&lt;h2&gt;Welcome to Parallels!&lt;/h2&gt;
&lt;p&gt;If you are seeing this message, the website for &lt;script type="text/javascript"&gt;
//<![CDATA[
document.write('&lt;a href="http://' + (location.hostname.indexOf(':')&gt;=0?'['+location.hostname+']':locat
//]]&gt;
&lt;/script&gt; is not available at this time.&lt;/p&gt;
&lt;p&gt;If you are the owner of this website, one of the following things may be occurring:&lt;/p&gt;
</pre>
</div>
<div data-bbox="501 900 527 915" data-label="Page-Footer">
<p>21</p>
</div>
<div data-bbox="270 923 734 940" data-label="Page-Footer">
<p>Copyright (C)2002-2009 NEOJAPAN,Inc All Rights Reserved.</p>
</div>
```

## ■ ファイルの記述内容の編集

「index.html」の右に表示されている鉛筆マークのアイコンをクリックします。

<input type="checkbox"/>		plesk-stat	4.00 KB		rwX r-x r-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>		test	4.00 KB		rwX r-x r-x	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		favicon.ico	4.00 KB		rw-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psachn
<input type="checkbox"/>		index.html	12.0 KB		rw-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psachn

全 11 件のneojapan.com / httpdocs アイテム ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

以下のエディット画面が表示され、ファイルを直接編集することができます。

「保存」ボタンをクリックすることで、編集内容が適用されます。

※所有者やパーミッションにより、編集できないケースもあります。

### ファイル neojapan.com / httpdocs / index.html の編集

以下のエンコーディングでオリジナルファイルを表示する: UTF-8 再読み込み (注意: 再読み込みにより、未保存の変更は失われます)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="en" lang="en">
<head>
<title>Domain Default page</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" />
<meta http-equiv="Cache-Control" content="no-cache" />
<link rel="shortcut icon" href="favicon.ico" type="image/x-icon" />
<link rel="icon" href="favicon.ico" type="image/x-icon" />
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/style.css" />
<script type="text/javascript">
//
document.write( &lt;script language="javascript" type="text/javascript" src="http:// + (location.hostname.indexOf(':')&gt;=0?'[+location.hostname+]:location.hostname)
+ ':8880/javascript/promo-flags.js.php"&gt;&lt;/ + &lt;script&gt; n);
//]]&gt;
&lt;/script&gt;
&lt;/head&gt;
&lt;body&gt;
&lt;div class="page"&gt;
&lt;div class="header clear"&gt;
&lt;script type="text/javascript"&gt;
//<![CDATA[
if (window.product_copyrights) { document.write( &lt;a class="company-logo" href="http://www.parallels.com"&gt;Parallels&lt;/a&gt;); }
//]]&gt;</pre>
</div>
<div data-bbox="130 525 202 537" data-label="Section-Header">
<h4>設定の保存中</h4>
</div>
<div data-bbox="130 542 460 555" data-label="Text">
<p>次のエンコーディングで保存する: <span>UTF-8</span></p>
</div>
<div data-bbox="130 558 453 572" data-label="Text">
<p>改行タイプ: <span>Unix スタイルへの変換</span></p>
</div>
<div data-bbox="130 574 433 588" data-label="Text">
<p>名前をつけて保存 <input type="checkbox"/></p>
</div>
<div data-bbox="310 608 646 622" data-label="Text">
<p><span>リセット</span> <span>保存</span> <span>OK</span> <span>キャンセル</span></p>
</div>
<div data-bbox="127 649 284 664" data-label="Section-Header">
<h2>■ ファイル名の編集</h2>
</div>
<div data-bbox="115 668 773 684" data-label="Text">
<p>ファイル編集の際の一時退避や、リンク訂正のため、ファイル名を変更したい場合には、</p>
</div>
<div data-bbox="115 687 671 703" data-label="Text">
<p>テキストボックスのアイコンをクリックすることで、ファイル名を変更できます。</p>
</div>
<div data-bbox="130 706 913 797" data-label="Table">
<table border="1">
<tr>
<td><input type="checkbox"/></td>
<td><img alt="Folder icon"/></td>
<td>plesk-stat</td>
<td>4.00 KB</td>
<td><img alt="Permissions icon"/></td>
<td>rwX r-x r-x</td>
<td>2月 17, 2012</td>
<td>root</td>
<td>root</td>
</tr>
<tr>
<td><input type="checkbox"/></td>
<td><img alt="Folder icon"/></td>
<td>test</td>
<td>4.00 KB</td>
<td><img alt="Permissions icon"/></td>
<td>rwX r-x r-x</td>
<td>2月 17, 2012</td>
<td>postmaster</td>
<td>psachn</td>
</tr>
<tr>
<td><input type="checkbox"/></td>
<td><img alt="Image icon"/></td>
<td>favicon.ico</td>
<td>4.00 KB</td>
<td><img alt="Permissions icon"/></td>
<td>rw-r--r--</td>
<td>2月 17, 2012</td>
<td>postmaster</td>
<td>psachn</td>
</tr>
<tr>
<td><input type="checkbox"/></td>
<td><img alt="HTML icon"/></td>
<td>index.html</td>
<td>12.0 KB</td>
<td><img alt="Permissions icon"/></td>
<td>rw-r--r--</td>
<td>2月 17, 2012</td>
<td>postmaster</td>
<td>psachn</td>
</tr>
</table>
<p>全 11 件のneojapan.com / httpdocs アイテム <span style="float: right;">ページごとの表示数: 10 25 100 すべて</span></p>
</div>
<div data-bbox="130 804 819 820" data-label="Text">
<p>アイコンをクリックすると以下の編集画面が表示されます。テキストエリア内のもとのファイル名を編集し、</p>
</div>
<div data-bbox="130 823 447 839" data-label="Text">
<p>「OK」ボタンを押すと編集内容が適用されます。</p>
</div>
<div data-bbox="501 899 528 915" data-label="Page-Footer">
<p>22</p>
</div>
<div data-bbox="270 922 733 940" data-label="Page-Footer">
<p>Copyright (C)2002-2009 NEOJAPAN,Inc All Rights Reserved.</p>
</div>
```

ファイル [neojapan.com / httpdocs /](http://neojapan.com/httpdocs/) index.html の名前変更

ファイル名 \*

\* 必須フィールド

## ■ ファイルのアップロード

お客様の PC にあるファイルを、サーバ側にアップロードするには、画面の上部にある「新しいファイルを追加する」のリンクをクリックします。

ツール



ファイルアップロードの画面が表示されます。

さらに「参照」ボタンをクリックすることで、PC 中のファイルの場所を検索可能です。

[neojapan.com / httpdocs /](http://neojapan.com/httpdocs/) に新しいファイルを作成する

### ● ファイルのアップロード

ファイルパス \*

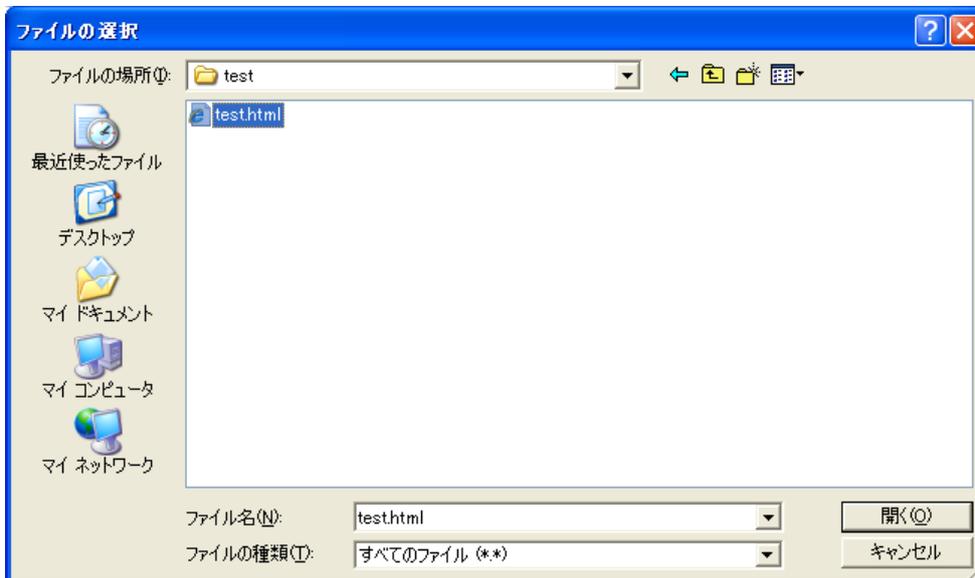
改行  ▼

### ○ ファイルの作成

ファイル名 \*

HTML テンプレートを利用する

\* 必須フィールド



最後に「OK」ボタンを押すと、アップロードが完了します。

※アップロード可能なファイルは一度の操作で 1 つのみとなります。

※上書きアップロードはできません。別名ファイルでアップロード後、ファイル名を編集するといった操作が必要です。

## ■ ファイルのパーミッション変更

スクリプトファイル等の実行権限(パーミッション)を変更したい場合、対象のファイルの右側にあるパーミッションリンクをクリックすることで、パーミッション変更が可能です

<input type="checkbox"/>	plesk-stat	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	root	root
<input type="checkbox"/>	test	4.00 KB		rwxr-xr-x	2月 17, 2012	postmaster	psacn
<input type="checkbox"/>	favicon.ico	4.00 KB		rW-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psacn
<input type="checkbox"/>	index.html	12.0 KB		rW-r--r--	2月 17, 2012	postmaster	psacn

全 11 件の [neojapan.com / httpdocs](#) アイテム ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

それぞれのファイル所有者に可能としたい処理(読み込み、書き込み、実行)の欄にチェックを入れ、「OK」ボタンを押下すると、ファイルの実行権限を変更することができます。

ファイル [neojapan.com / httpdocs / index.html](#) のパーミッションを変更する

	読み込みモード	書き込みモード	実行/サーチモード
プロバイダ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
グループ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## ■ 新規ファイルの作成

サーバー内に新規ファイルを作成するには、アップロードの際と同様、「新しいファイルを追加する」リンクをクリックしてアップロード画面を表示させます。

ツール



アップロード画面が表示された後、ファイル作成のラジオボタンをクリックします。

ファイル名のテキストエリアが有効になるので、ファイル名を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

[neojapan.com / httpdocs](#) に新しいファイルを作成する

ファイルのアップロード

ファイルパス \*

改行

ファイルの作成

ファイル名 \*

HTML テンプレートを利用する

\* 必須フィールド

次に以下のエディット画面が表示されるので、編集後に「OK」ボタンをクリックして完了です。

ファイル作成 [neojapan.com](#) / test

次のエンコーディングで保存する: UTF-8

設定の保存中

改行タイプ: Unix スタイルへの変換

名前をつけて保存 

OK

キャンセル

### ■ 新規ディレクトリ(フォルダ)の作成

サーバー内に新規ディレクトリ(フォルダ)を作成するには、「ディレクトリ作成」のアイコンをクリックし、ディレクトリ作成画面を表示させます。

ツール



ディレクトリ名のテキストエリアに作成したいフォルダ名を入力し、「OK」ボタンを押下して完了です。

[neojapan.com](#)に新しいディレクトリを作成する  
ディレクトリ作成

ディレクトリ名 \* 

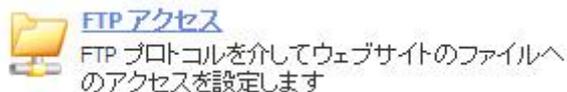
\* 必須フィールド

OK

キャンセル

## 第2項 FTP アクセス

FTP アクセスとは Apache 内のユーザーアカウントです。これは個別に FTP アクセスできるパーソナライズされた Web ページの場所を定義するのに使用されます。FTP アカウントを作成すると、ドメイン内にサブディレクトリを作成することができます。(例: <http://www.neojapan.com/~webuser/>)。



### ■ FTP アカウント作成

新規 FTP アカウントを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1) FTPアクセスをクリック後の画面で「追加 FTP アカウントを作成する」アイコンをクリックしてください。

ツール



- 2) 次画面で FTP アカウント名を入力します。

FTP アカウント

FTP アカウント名 *	<input type="text"/>
ホームディレクトリ *	<input type="text" value="/"/>
古い FTP パスワード	なし
新しい FTP パスワード *	<input type="text"/> <input type="button" value="最弱"/> (?)
FTP パスワードの確認 *	<input type="text"/>

\* 必須フィールド

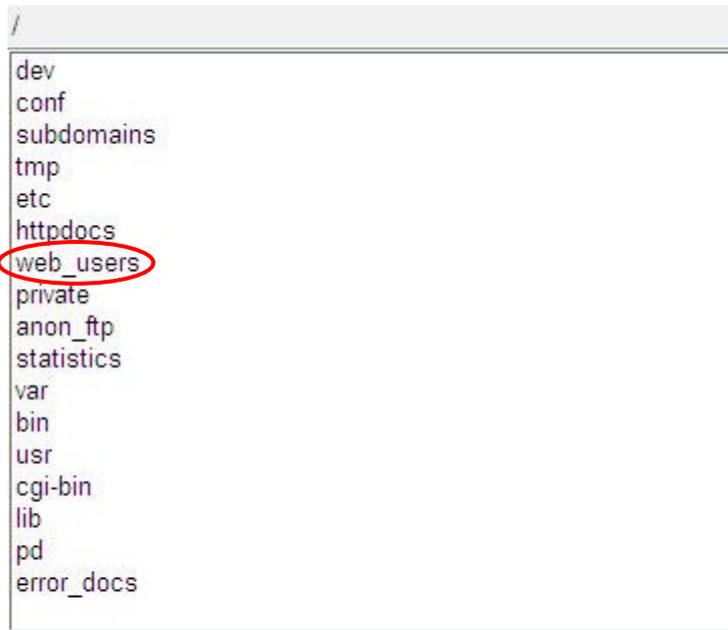
※注意点1:

各 FTP アカウントは Apache 内にシステムアカウントを作成するので、同じサーバ上で同じ名前の FTP アカウントを 2 つ持つことはできません。

※注意点2

FTP アカウント名に「mailman」という文字は使用できません。またアカウント名に利用できるのは半角英文字(小文字)と半角数字のみとなります。

- 3) ホームディレクトリ(アクセス可能なディレクトリ)を アイコンから選択します。  
フォルダ選択のポップアップウィンドウからアクセス可能なディレクトリを選択して OK 押下します。  
例として「web\_users」を選択します。



- 新しい FTP パスワード欄に FTP パスワードを入力します。  
FTP パスワードの確認欄にも同じパスワードを入力します。

※注意点3:

引用符、スペースおよび半角英数字以外の文字をパスワードに使用しないでください。  
パスワードは半角 5～14 文字とし、ログイン名と同一のものは設定できません。

- 最後に OK 押下します。

#### FTP アカウント

FTP アカウント名 *	<input type="text" value="ftptest"/>
ホームディレクトリ *	<input type="text" value="/web_users"/>
古い FTP パスワード	なし
新しい FTP パスワード *	<input type="password" value="*****"/> <span style="color: red;">■</span> 最弱 (?)
FTP パスワードの確認 *	<input type="password" value="*****"/>

\* 必須フィールド

- FTP アカウントを作成すると、そのアカウント名が FTP アカウント画面のリスト内に表示されます。



※注意点4:

FTP アカウントは FTP ソフトウェアを使用して指定ディレクトリにアクセスできます。その FTP アカウントが作成された先のドメインの名前を入力し、適切な FTP アカウント名とパスワードを使用してください。

## ■ FTPアカウント編集

FTPアカウントのパスワードを変更したり、スクリプトオプションを編集するには、FTPアカウントリスト内のアカウント名(名前)をクリックしてください。FTPアカウントのプロパティページが開きますので、上記と同じ手順で編集を行ってください。

## ■ FTPアカウント削除

既存のFTPアカウントを削除するには、削除するFTPアカウントのチェックボックスをチェックし、「×削除」アイコンをクリックしてください。選択したFTPアカウントを削除する前に、

FTPアカウント

全 2 件のFTP アカウント ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/>	T	名前 ▲	ホーム
<input checked="" type="checkbox"/>		ftptest	/web_users
<input type="checkbox"/>		postmaster	/

削除を確認するメッセージが表示されますので、「スナップショットを削除」にチェックを入れ OK 押下。

**削除**

以下の追加 FTP アカウントが削除されます:

ftptest

**スナップショットを削除**

## 第3項 サイトセキュリティを保護する(SSL 証明書登録)

**サイトをセキュリティ保護する**  
SSL 証明書を使用して、ウェブサイトへの接続をセキュリティ保護します。

※この機能は利用しないでください

SSL サービスはオプションサービスにてお申込頂くようになります。

<http://www.desknets.com/applitus/fee/>

※もし個別に SSL 証明書を適用する場合は、まずは弊社へご相談頂きますようお願い致します。

## 第4項 バックアップマネージャ(バックアップ)

サーバに設定してあるお客様情報のバックアップの管理ができます。

**バックアップマネージャ**  
ドメインのバックアップと復元を、ウェブサイトとメールアカウントの設定とコンテンツごとに行います。

## ※【お客様へのお願い】

バックアップを取得することは可能ですが、リストア作業(サーバリポジトリにファイルをアップロードする)をお客様の権限で実施するとエラーになる可能性がある為、恐れ入りますが、リストアを希望される場合は、まずは弊社へご相談頂きますようお願い致します。

### ■ バックアップ／復元機能の概要

本機能を使用するためには、の「バックアップマネージャ」アイコンをクリックしてください。

バックアップマネージャのページが表示され、バックアップツール、保存されたバックアップファイル(サーバリポジトリ)と現在のバックアップタスクが表示されます。



### ■ バックアップ作業手順詳細

- 1) ツールより「バックアップ」アイコンをクリックします。



「バックアップ設定」のページが表示されます。

バックアップ設定

バックアップ名にプレフィックスを追加する

コメント   
作成日: Feb 28, 2012 03:32 PM

マルチボリュームバックアップの作成  ボリュームサイズ  MB

バックアップの保存先  サーバリポジトリ

バックアップタスクが完了次第、メールで通知を送信する

バックアップ内容

バックアップ  ドメイン設定  
 ドメイン設定とコンテンツ



- 2) バックアップを取得する場合は、「バックアップ」をクリックする  
バックアップ作業が自動的に開始されます。
- 3) バックアップが作業が完了しますと「バックアップマネージャ」の画面にもどり、作成したバックアップファイルが画面下方に名称、作成日時と伴に表示されます

全 1 件のバックアップ、サイズ:9.44 kb

ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/>	0	5	作成日時▼	名前	コメント	サイズ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2月 28, 2012 03:36 PM	<a href="#">backup_neojapan.com_info_1202281536.xml</a>	ドメイン バックアップ 作成日: Feb 28, 2012 03:32 PM	9.44 KB

全 1 件のバックアップ、サイズ:9.44 kb

ページごとの表示数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

## ■ バックアップを自動化(スケジューリング)する場合

- 1) 「バックアップマネージャ」画面より「スケジュール済みバックアップの設定」をクリックする



### スケジュール済みバックアップの設定

「スケジュール済みバックアップの設定」ページが表示されます

**スケジュール**

このバックアップタスクを有効化する

バックアップ期間

バックアップを (HH:mm) に作成する \*  :

スケジュールされたバックアップタスクのチェック間隔は 15 分です。Panel のバックアップを特定の時間に開始したい場合は、必要な時間の少なくとも 15 分前までの時間でタスクをスケジュールしてください。

---

**バックアップ設定**

バックアップ名にプレフィックスを追加する

マルチボリューム/バックアップの作成  ボリュームサイズ  MB

バックアップの保存先  サーバリポジトリ

リポジトリの最大バックアップ数

ハードディスクを節約するために、それぞれのスケジュール/バックアップタスクでリポジトリに保存するバックアップ数を指定することができます。制限値に達した場合、リポジトリ内の最も古いバックアップが新しいバックアップと置き換わります。

このスケジュール/バックアップタスクの実行時エラーが発生した場合、通知メールを送信する

---

**バックアップ内容**

バックアップ  ドメイン設定  ドメイン設定とコンテンツ

---

\* 必須フィールド

- 2) 各項目に入力して OK 押下します。

- ① このバックアップを有効化する  
チェックを入れるとバックアップ機能が有効になります。
- ② バックアップ期間  
バックアップ期間]を選択出来ます。(日次、週次、月次)
- ③ バックアップを(HH:mm)に作成する  
バックアップを開始する時間を設定します。
- ④ バックアップ名にプレフィックスを追加する  
入力した文言がバックアップファイル名の先頭に入るようになります。
- ⑤ マルチボリューム/バックアップの作成  
チェックを入れると、指定サイズで分割してバックアップファイルを作成します。
- ⑥ リポジトリの最大バックアップ数  
バックアップファイルの最大保存数を設定します。(世代管理)  
※設定した数を超えると、保存場所にある古いバックアップファイルから順番に消去されます。

- ⑦ このスケジュールバックアップタスクの実行時エラーが発生した場合、通知メールを送信するエラーが発生した場合、メールで登録アドレス宛に通知します。
- ⑧ バックアップ  
バックアップ対象を選択します。「ドメイン設定」又は「ドメイン設定とコンテンツ」から選択。

## ■ バックアップファイルの削除

サーバレポジトリのバックアップファイルリストより削除したいバックアップファイルのチェックボックスをチェックして、「×削除」をクリックしてください。

全 1 件のバックアップ, サイズ: 39.5 mb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	0 5	作成日時▼	名前	コメント	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>		2月 28, 2012 04:31 PM	backup_neojapan.com_info_1202281631.xml		39.5 MB

全 1 件のバックアップ, サイズ: 39.5 mb ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

削除を確認するメッセージが表示されますので、「スナップショットを削除」にチェックを入れ OK 押下。

**削除**

以下のバックアップが削除されます:

backup\_neojapan.com\_info\_1202281631.xml

スナップショットを削除

## 第4項 ウェブホスティングアクセス



### ウェブホスティングアクセス

IP アドレス: 182.236.107.248

SSH または RDP 経由の Panel へのリモートアクセスに使用されるシステムユーザアカウントの設定を変更し、ファイルマネージャ内のファイルとフォルダを操作します。

※この機能は利用しないでください

## 第4節 メール

メールの管理画面になります。

【メールサービスに関して以下の機能をご利用いただけます】

- ・ メールアドレスの作成、編集、削除と個々のメールボックス容量を制限する。
- ・ 単独のメールアドレスを複数のエイリアス(別名)で使用する。
- ・ メールを他のメールアドレスへ転送するための設定をする。
- ・ メールアドレスに送信されたメールへの自動返信を設定する。
- ・ 受信メールに対する統合的なスパムフィルタ機能を個別に管理・設定する。
- ・ 個々のメールアドレスに対し、アンチウイルス機能を個別に管理・設定する。

ホーム ユーザ ウェブサイトとドメイン **メール** 統計 アカウント

---

メール

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

<input type="checkbox"/> メールアドレス ▲	ユーザ	使用量	
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者(neojapan.com)	無制限 中、4.00 KB 使用	
<input type="checkbox"/> yamada@neojapan.com	山田太郎	無制限 中、4.00 KB 使用	

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

## 第1項 各種メール設定

### ■ メールアドレス作成

- 1) 「メールアドレスの作成」をクリックします



- 2) メールアドレス作成画面の全般タブで以下事項を入力して OK 押下

メールアドレスの作成

全般
  転送
  メールエイリアス
  自動返信
  スпамフィルタ
  アンチウイルス

メールボックスを設定して、それにアクセスするためのパスワードを指定します

メールアドレス \*  @ neojapan.com

メールボックス
  メールボックスを、サービスプロバイダ指定のサイズに設定する(97.7 MB)
  新しいサイズの指定  KB

割り当て先 なし

パスワード   (?)

ユーザアカウントにメールアドレスが割り当てられていない場合は、このパスワードが使用されます。ユーザアカウントに割り当てられたメールアドレスはユーザアカウントのパスワードで動作します

パスワードを確認する

\*必須フィールド

- ① メールアドレス:  
@マーク前のアカウント名を入力します。
  - ② メールボックス:  
チェックを外すとメールボックスが無効になります。有効にした状態で個別にメールボックスのサイズを指定できるようになっております。(新しいサイズの指定)
  - ③ パスワード:  
メールのパスワードを入力します。  
※パスワードには、アカウント名と同じものは使用できません。
- 3) 登録完了になりますと、メールアドレスの一覧に該当アドレスが追加されます

情報: メールアドレス sample@neojapan.com が作成されました

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成 | 設定を変更 | 使用量統計を更新 | 削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> sample@neojapan.com		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

## ご注意！！

メールアドレスで使用できる文字は、“半角英数小文字” “.” “ピリオド” “\_ アンダーバー” “- ハイフン”、パスワードで使用できる文字は“半角英数小文字” “半角英数大文字” “.” “ピリオド” “\_ アンダーバー” “- ハイフン” となります。但し、RFC に準拠しないメールアドレス (例: @ 直前に “.” “ピリオド” を配したメールアドレスなど) のご利用については、動作の保証は致しかねます。

また、メールアドレスにつきましては、送信先の環境により大文字を使用していることで不具合を引き起こす場合があります。大文字で指定された文字は、登録時に自動的に小文字に変換されます。また、文字数につきましてメールアドレスは @ およびドメインの文字数を含み 64 文字以内、パスワードは 5 文字以上 14 文字以内で、かつメールアドレスと異なるように設定してください。

## ■ メール転送設定

ひとつのメールボックスから他のメールアドレスへメールを転送することができます。

メールの転送かエイリアス(別名)を設定することで、メッセージを異なるメールアドレスへ転送することができます。メールは他のドメインに属する外部のメールアドレスへも転送できます。以下はこの機能を使う想定される場面です。

- メールボックス利用者の事情で、一時的にメールの転送が必要になった。
- メールボックス利用者の退職にともない、メールを新しい担当者のアドレスへ転送する。
- 新しいアカウントへメールを転送して、古いメールボックスと置き換える。 等々

### 1) メールアドレスの一覧より転送元のメールアドレスをクリックする

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成 | 設定を変更 | 使用量統計を更新 | 削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> sample@neojapan.com		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

### 2) 転送タブをクリックする

全般 | **転送** | メールエイリアス | 自動返信 | スパムフィルタ | アンチウイルス

### 3) 「メール転送を有効にする」にチェックを入れ、転送先のメールアドレスを登録して OK 押下します

全般 転送 **メールエイリアス** 自動返信 スпамフィルタ アンチウイルス

メール転送をメールアドレスに設定します。メールボックスが[メールボックス]タブでオンになっていると、メールのコピーがその中に保管されます。

メール転送を有効にする

すべての受信メールを次のメールアドレスに転送する

neotest@neo.com  
 neotest2@docomo.ne.jp

メールアドレスを入力してください。複数のアドレスは、改行することも、空白、コンマ、またはセミコロンで区切ることもできます。

\*必須フィールド OK キャンセル

※複数のメールアドレスを登録することも可能です

### 4) メールアドレスの一覧画面に戻り、設定が完了したメッセージが表示され、転送先のメールアドレスが表示されます

**情報:** メールアドレス sample@neojapan.com の設定が保存されました

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成
設定を変更
使用量統計を更新
削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、4.00 KB 使用
<input type="checkbox"/> sample@neojapan.com	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">neotest@neo.com (さらに 1)</span>	97.7 MB 中、4.00 KB 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

## ■ メールエイリアス

「メールエイリアス」ではメールアドレスのエイリアス(別名)を設定可能です。メールエイリアスを設定すると「エイリアス名がメールアドレス」として使用できるようになります。

### 1) メールアドレスの一覧よりメールエイリアスを設定したいメールアドレスをクリックする

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成
設定を変更
使用量統計を更新
削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">sample@neojapan.com</span>		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

### 2) メールエイリアスタブをクリックします

全般 転送 **メールエイリアス** 自動返信 スпамフィルタ アンチウイルス

### 3) メールエイリアス欄にエイリアスアドレスを入力して OK 押下します

全般 転送 **メールエイリアス** 自動返信 スпамフィルタ アンチウイルス

メールエイリアスとは、プライマリメールアドレスに関連付けられている代替のメールアドレスです。メールエイリアス宛てに送信されたメールはすべてプライマリメールアドレスが受信します

メールエイリアス @neojapan.com

[メールエイリアスの追加](#)

\* 必須フィールド

※「メールエイリアスの追加」より複数のエイリアスアドレスを登録することも可能です

### 4) メールアドレスの一覧画面に戻り、設定が完了したメッセージが表示され、転送先のメールアドレスが表示されます。

**情報:** メールアドレス sample@neojapan.com の設定が保存されました

ドメインで使用しているメールアドレスの作成と管理を行います。各メールアドレスに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成 設定を変更 使用量統計を更新 削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、4.00 KB 使用
<input type="checkbox"/> sample@neojapan.com (1-sample@neojapan.com)	neotest@neo.com (さらに 1)	97.7 MB 中、4.00 KB 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

## ■ 自動返信

メールの自動返信は、受信したメールが自動返信に設定されたメールアドレス宛だった場合に、自動的に返信メールを送信します。自動返信は、テキストメッセージと添付ファイルを自動送信することができます。このメール機能は、外出中やなんらかの理由でメールボックスをチェックできないユーザーに便利な機能です。自動返信の設定画面では、自動返信のための添付ファイルのアップロード機能や該当アカウントの自動応答機能の有効化機能、自動応答のリストを管理できます。

### 1) メールアドレスの一覧より自動返信設定したいメールアドレスをクリックする

ドメインで使用しているメールアドレスの作成と管理を行います。各メールアドレスに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成 設定を変更 使用量統計を更新 削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> sample@neojapan.com		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

### 2) 自動返信タブをクリックします

全般 転送 メールエイリアス **自動返信** スпамフィルタ アンチウイルス

## 3) 「自動返信を有効にする」にチェックを入れ、各項目を入力後、OK 押下します

全般	転送	メールエイリアス	自動返信	スパムフィルタ	アンチウイルス
自分のメールアドレス宛てのすべてのメールメッセージに自動返信を設定します。自動返信とは、出張や休暇中であることを相手に知らせる標準的な手段です。					
<input checked="" type="checkbox"/>	自動返信を有効にする				
自動返信メールの件名 *	<input type="text" value="Re: &lt;request_subject&gt;"/>				
メッセージフォーマット	<input checked="" type="radio"/> テキスト形式 <input type="radio"/> HTML <small>テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見た目が良くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。</small>				
エンコーディング	<input type="text" value="UTF-8"/> <small>エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。</small>				
自動返信メールのテキスト	<input type="text" value="自動返信テキストメッセージです。"/> <small>テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。</small>				
転送先	<input type="text"/> <small>自動返信が送信されると、元のメッセージは指定したメールアドレス宛てに転送されます</small>				
ファイルを添付する	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="新しい添付ファイルを追加する"/>				
*必須フィールド	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>				

## 自動返信メールの件名:

自動返信に使用される「メールの件名」を指定します。単純に受信したメールと同じ件名で返信したい場合は、デフォルト設定のままにしておきます。特定の件名に限定したい場合は、必要なテキストを入力してください。

## メッセージフォーマット:

自動返信の際に使用される書式(テキスト形式/HTML 形式)を選択します。

## エンコーディング:

自動返信時の文字コード(エンコード)を指定することができます。

※通常はデフォルトの「UTF-8」をご利用ください

## 自動返信メールのテキスト:

自動返信時のメッセージを入力します。

## 転送先:

自動返信後、登録したメールアドレス宛に元のメールを転送することができます。

## ファイルを添付する:

自動返信時に添付ファイルも含めることができます。

その場合、参照ボタンよりクライアント PC 内のファイルを選択してください。

複数添付ファイルを追加する場合は「新しい添付ファイルを追加する」をクリックして追加してください。

## ■ スпамフィルタ

あらかじめスパムメールのパターンを登録しておくことにより、スパムメールを受信することなく、メールサーバ上で削除することができます。スパムメールのパターンは、メールアカウント毎に個別設定することができます。

(※注:スパムフィルタを設定したことによるメールの削除、紛失には充分ご注意ください。)

## 1) メールアドレスの一覧よりスパムフィルタ設定したいメールアドレスをクリックする

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

メールアドレスの作成 | 設定を変更 | 使用量統計を更新 | 削除

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> <b>sample@neojapan.com</b>		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: 10 25 100 すべて

## 2) スパムフィルタタブをクリックします

全般 | 転送 | メールエイリアス | 自動返信 | **スパムフィルタ** | アンチウイルス

## 3) 「このメールアドレスに対してスパムフィルタを有効にする」にチェックを入れ、以下パーミッションを選択後、OK 押下します。

全般 | 転送 | メールエイリアス | 自動返信 | **スパムフィルタ** | アンチウイルス

スパムフィルタサービスは、対象メールアドレス宛てに送信されたスパムメールを検出します。スパムフィルタを設定して、スパムメールを削除するか、件名を変更してスパムであるとかマーキングするか、スパムメールをメールクライアントが IMAP 経由でアクセスできる特別なスパムフォルダに移動することができます。スパムフィルタは、スパムの署名を識別するために、さまざまなローカルテストとネットワークテストを行います。

このメールアドレスに対してスパムフィルタを有効にする

スパムに分類されたメッセージに対する処理

- スパムメッセージの件名に指定テキストを追加してマーキングする  
 件名: \*\*\*\*SPAM\*\*\*\*  
 スパムメッセージは受信ボックスに入りますが、件名で簡単に識別できます。メールクライアントプログラムを設定して、メールメッセージを件名でフィルタリングすることもできます。
- スパムメッセージをすべて削除する  
 スパムメッセージは受信ボックスから削除されます
- スパムをスパムフォルダに移動する  
 スパムメッセージをすべて「スパム」フォルダに移動します。このフォルダは、メールクライアントプログラムまたはウェブメールからアクセスできます。IMAP メールアカウントをご使用の場合は、スパムフォルダを用いてスパムフィルタを学習させることができます。

▶ 高度な設定を表示する

\* 必須フィールド

スパムに分類されたメッセージに対する処理:

- ・ スパムメッセージの件名に指定テキストを追加してマーキングする  
 メールにタグ(デフォルトは\*\*\*\*SPAM\*\*\*\*)を付け、メールボックスに保存されます。
- ・ スパムメッセージをすべて削除する  
 メールボックスに届いた時点で自動削除されます。  
 ※誤判定により受信すべきメールまで自動削除される可能性があります。
- ・ スパムをスパムフォルダに移動する  
 IMAP プロトコル経由でメールボックスにアクセスした場合、「Spam」フォルダが表示されます。  
 こちらの「Spam」フォルダに自動的にスパムメールを移動します。  
 ※POP プロトコル経由では本機能は利用できません

※スパムフィルタの感度(レベル)や、ホワイトリスト、ブラックリストの設定については、「高度な設定を表示する」をクリックして以下画面を表示させます。

## フィルタ感度

スパムフィルタは、各メッセージのコンテンツおよび件名行に対して複数の異なるテストを実行します。その結果、各メッセージに複数のポイントが記録されます。ポイントが高くなるほど、メッセージがスパムである可能性が高くなります。デフォルトでは、スコアが7ポイント以上のメッセージがすべてスパムと分類されるようにフィルタ感度が設定されます。現行設定で大量のスパムメッセージが来る場合は、フィルタの値を小さくして(例: 6)、感度を上げてください。スパムフィルタが必要なメールまでジャンクメールと判断する場合は、フィルタの値を大きくして(例: 8)、感度を下げてください。 [スパムフィルタを学習させる方法の詳細です。](#)

スパムフィルタの感度 \*

## ホワイトリスト

スパムフィルタは、ホワイトリストに掲載されている送信者からのメールはチェックしません

ホワイトリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード(\* および ?)を使用できます(例: \*@domain.com, user?@\*.com)。

## ブラックリスト

ブラックリストに掲載されている送信者からのメールはブロックされます

ブラックリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード(\* および ?)を使用できます(例: \*@domain.com, user?@\*.com)。

\* 必須フィールド

## スパムフィルタの感度:

数値が少ない程、厳しくスパム判定致します。(デフォルト7)

## ホワイトリスト:

スパムでないメールのメールアドレスを入力します。

\*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてクリーンと判断します。仮にブラックリストに登録されている場合でも、ユーザーにとっては必要な相手先の場合、設定しておけばメールの受信が可能です。

(例) \*@yahoo.co.jp がブラックリストに登録されている場合、taro@yahoo.co.jp をホワイトリストに登録しておけば、taro@yahoo.co.jp からのメールはスパムと見なしません。

## ブラックリスト:

スパムメールのメールアドレスをタイプ入力します。

\*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてスパムと判断し指定された処理を行います。

(例) \*@blackXXXXX.com (blackXXXXX.com ドメインからのメールを全て対象にする)

## ■ アンチウイルス

個別のメールアカウント毎に Dr.Web アンチウイルス設定を行うことができます。

### 1) メールアドレスの一覧よりアンチウイルス設定したいメールアドレスをクリックする

ドメインで使用しているメールアカウントの作成と管理を行います。各メールアカウントに対して、メールボックス、同じメールボックスを指すメールアドレス(メールエイリアス)の数、自動返信、およびメールアドレスへのメール転送を設定できます。ご利用のアカウントでスパムおよびウイルスの防御サービスが使用可能であれば、その設定もできます。

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

メールアドレス ▲	ユーザ	使用量
<input type="checkbox"/> postmaster@neojapan.com	ドメイン管理者	97.7 MB 中、0 B 使用
<input type="checkbox"/> <span style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">sample@neojapan.com</span>		97.7 MB 中、0 B 使用

合計 2 個 1 ページ当たりのエントリの数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

2) アンチウイルスタブをクリックします



3) 「このメールアドレスに対してアンチウイルス防御を有効にする」にチェックを入れ、以下パーミッションを選択後、OK 押下します。



アンチウイルスサービスでは、ウイルスを含むメールをブロックし、送信者と受信者に通知します。

このメールアドレスに対してアンチウイルス防御を有効にする

ウイルスチェック

受信メールのみ

送信メールのみ

送受信メール

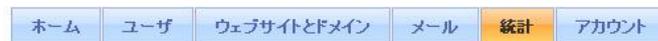
\* 必須フィールド



初期規定値は機能 OFF となっております。「送受信メール」でウイルスチェックを行うに手動でご変更頂くことを推奨しております。お客様企業内で別途アンチウイルス監視システムを構築されている場合、その環境に対応した個別設定を行うことが可能です。尚、検知されたウイルスメールは自動的に削除されます

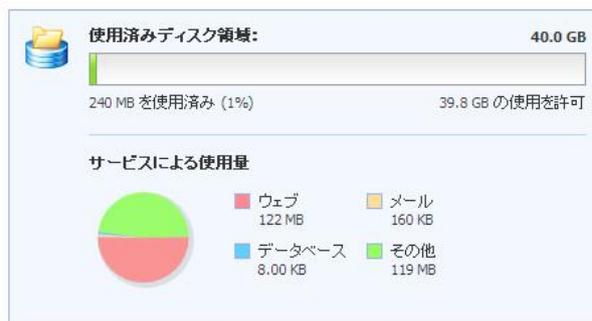
## 第 5 節 統計

リソースの使用状況に関する詳細なレポートやドメイン内のサービス(FTP、HTTP、POP3/IMAP、SMTP 等)のトラフィックデータ転送量を確認する管理画面となります。



### 統計

契約で提供しているリソースの使用状況に関する詳細なレポートを表示します。サービスプランを契約している場合、画面上端で契約を選択するとそれぞれの統計を見ることができます。

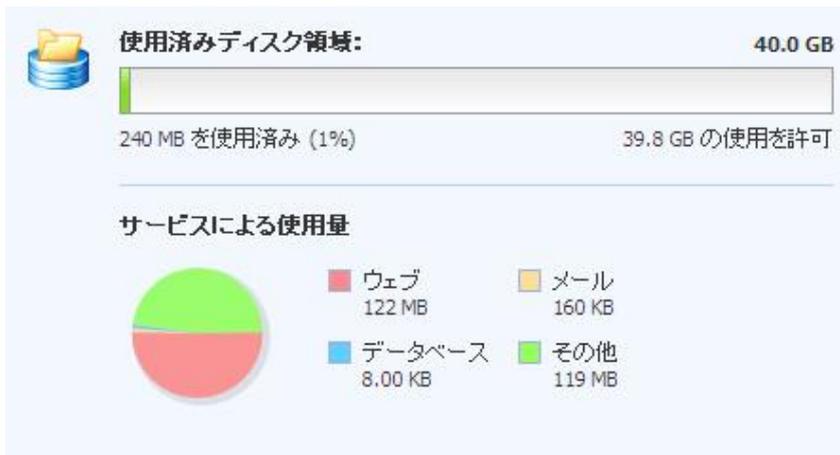


追加情報について以下も参照してください。

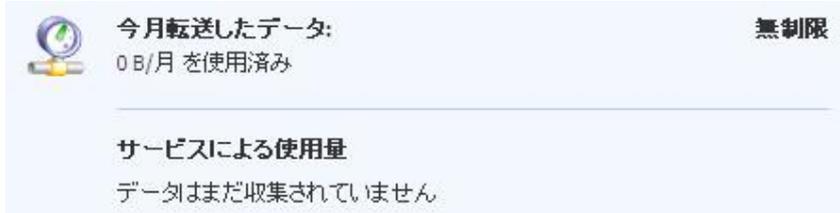
**データ転送統計**  
ウェブサイトのトラフィック使用量の月次レポートを、ウェブサイト(HTTP、FTP)およびメール(SMTP、POP3/IMAP)別に表示します

### ■ 使用済みディスク領域

サービス契約のディスク容量の内訳を確認できます。



- 今月転送したデータ  
当月の転送データ量を確認できます。



- データ転送統計
  - 1) データ転送の詳細を確認する場合、「データ転送統計」をクリックします。



- 2) 次画面より各サービスの値を確認してください。

サービスによるデータ転送

3月 2012 (0 B)

名前:  [検索](#) [検索のリセット](#)

全 4 件のサービス ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

契約全体での統計	使用	制限	有効	使用 (%)
neojapan.com	0.00 MB	無制限	-	-
サービス ▲	使用	In	Out	全体に占める割合(%)
FTP	0.00 MB	0.00 MB	0.00 MB	0% <input type="text"/>
HTTP	0.00 MB	0.00 MB	0.00 MB	0% <input type="text"/>
POP3/IMAP	0.00 MB	0.00 MB	0.00 MB	0% <input type="text"/>
SMTP	0.00 MB	0.00 MB	0.00 MB	0% <input type="text"/>

全 4 件のサービス ページごとの表示数: 10 25 100 すべて

## 第6節 アカウント

ドメイン管理者のログイン情報変更、バックアップ設定等を行う管理画面となります。

ホーム
ユーザ
ウェブサイトとドメイン
メール
統計
アカウント

契約 **neojapan.com** のアカウント情報およびツール

リソース割り当て、ホスティングオプション、および、契約条件に従って Panel で実行可能な処理のパーミッションに関する詳細です

マイ・プロフィール
ウェブサイトのバックアップ

プラン名	Applitus共用プラン
セットアップ日	2月 17, 2012
ステータス	<span style="color: green;">●</span> アクティブ

以下のタブをクリックすると、リソース割り当て、ホスティングオプション、および、契約条件に従って Panel で実行できる処理のパーミッションが表示されます

リソース
ホスティングオプション
パーミッション

利用超過ポリシー ディスク容量とトラフィックの利用超過を許可する (リソース上限に達したときにメールで通知)

---

ご利用の契約に対するリソース使用量の概要です ▶ [契約に含まれているその他のリソース](#)

ディスク領域	<div style="border: 1px solid #ccc; width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc; position: relative;"> <div style="background-color: #99cc33; width: 2%;"></div> </div> <small>40.0 GB 中、240 MB 使用</small>
トラフィック	<small>無制限 中、0 B/月 使用</small>
ドメイン	<small>1 中、1 使用</small>
ドメイン エイリアス	<small>無制限 中、0 使用</small>
メールボックス	<small>200 中、2 使用</small>
メールボックスのサイズ	<small>無制限</small>
追加 FTP アカウント	<small>無制限 中、1 使用</small>

### ■ マイ・プロフィール

 [マイ・プロフィール](#)

ドメイン管理者のログインパスワード変更画面となります。

※P10 第2節 [ドメイン管理者パスワードの変更の方法](#) をご参照ください

### ■ ウェブサイトのバックアップ

 [ウェブサイトのバックアップ](#)

バックアップ設定画面になります。

※P28 第4項 [バックアップマネージャ](#)をご参照ください

第8章 各種ソフトウェアの設定例

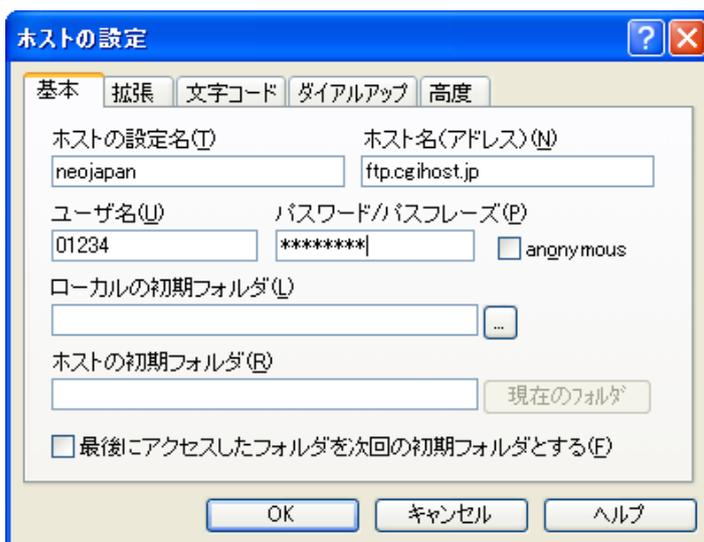
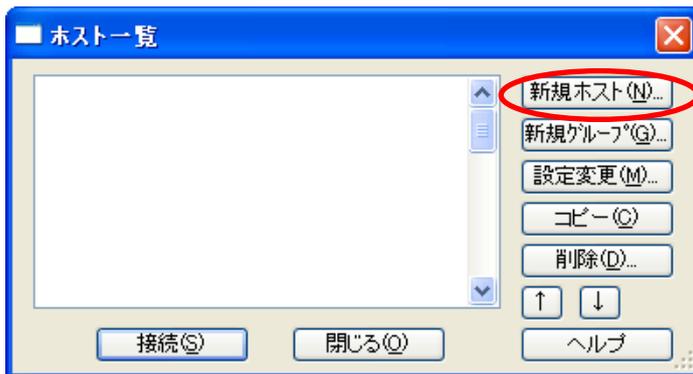
第1節 FTP ソフトの設定例 (Windows 編)

(例) FFFTP を使用した場合

FFFTP のダウンロード先 URL: <http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html> (変更になっている場合があります。)

【手順】

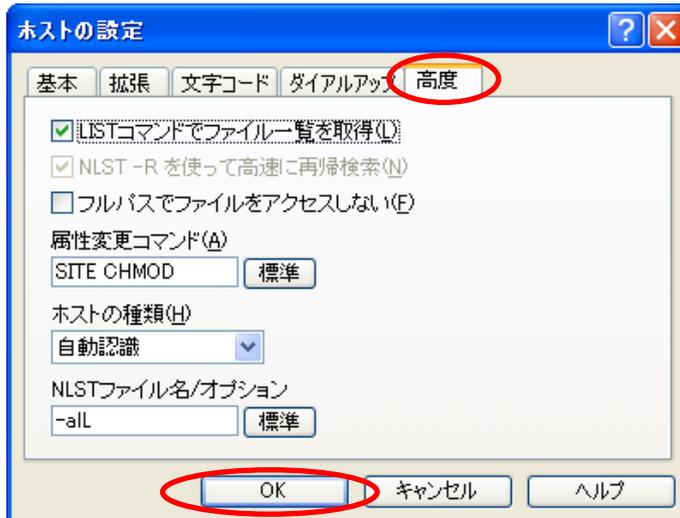
- ① 「新規ホスト」をクリックしてください。  
「ホストの設定」画面が表示されます。



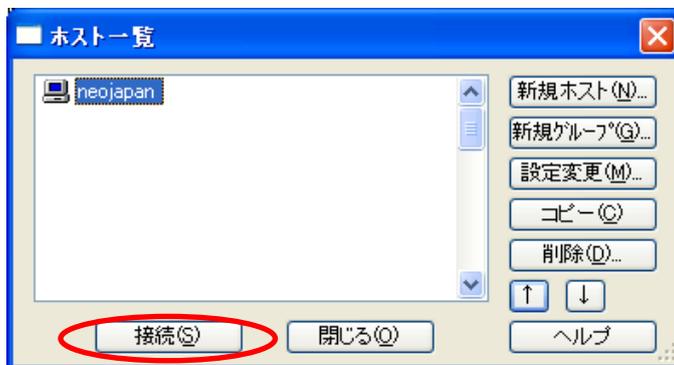
- ② 基本タブへ以下の項目を入力してください。

入力項目	
(本書 P8 第4章をご参照ください)	
ホストの設定名	: 任意に命名下さい。
ホスト名(アドレス)	: FTP ホスト名(アドレス)
※移設の方	: FTP 先サーバ IP アドレス
ユーザ名	: FTP ID(ユーザ名)
パスワード/パスフレーズ	: FTP パスワード
ローカルの初期フォルダ	: 無記入
ホストの初期フォルダ	: 無記入

- ③ 「高度」タブをクリックし、下記の通りチェックボックスにチェックを入れます。



- ④ 入力後「OK」ボタンをクリックして、「ホスト」名を選択し、接続ください。



【Web コンテンツの転送先について】

ログイン後に表示される「**httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**」というサブディレクトリの中にお客様の Web コンテンツを転送します。

サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

```
anon_ftp
bin
cgi-bin
conf
error_docs
httpdocs
httpsdocs
pd
private
statistics
subdomains
web_users
```

この **httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。**CGI スクリプトは cgi-bin フォルダに設置します**。httpdocs(SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)フォルダの外に設置された場合はファイルが表示されませんのでご注意ください。  
尚、CGI(SSI)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

**ご注意！！**

お客様ご使用の FTP ソフトの使い方に関しましては、ソフトのマニュアルをご参照ください。また、ご不明な点がございましたらコミュニケーションセンター（0120-365-800 平日 9 時～12 時、13 時～18 時）までお問い合わせください。

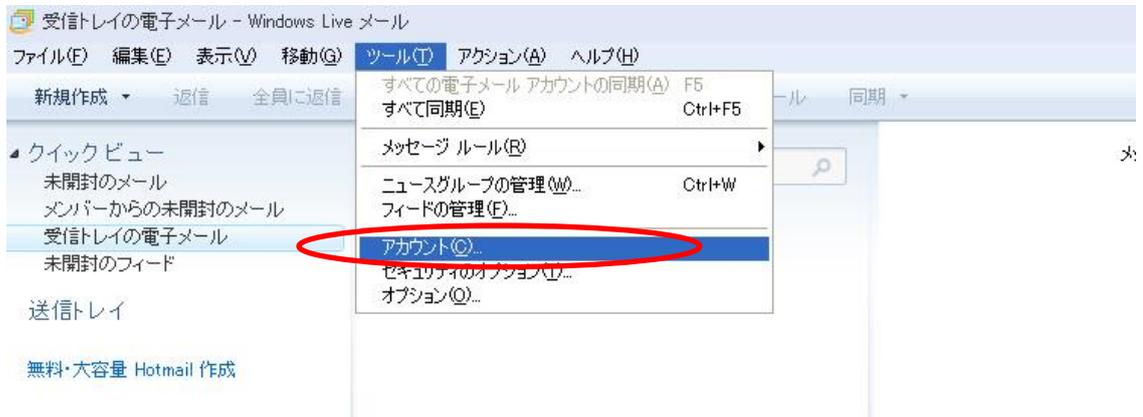
**ご注意！！**

弊社のサービスにつきましては、セキュリティの関係からお客様ドメインに対してアクセスいただいた場合、該当するファイルが無い場合はディレクトリ内にありますファイルを見えない形式にてあります。直接 “http://www.お客様ドメイン名” のみでトップページを表示したい場合は、トップページのファイル名を index.html としてください。

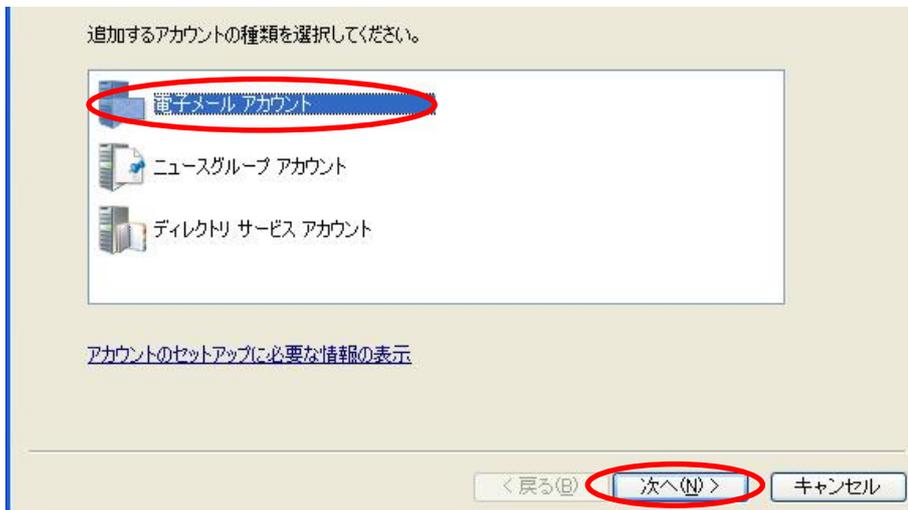
## 第2節 メールソフトの設定例(Windows、Mac)

(例1) Windows Live メールを利用した場合

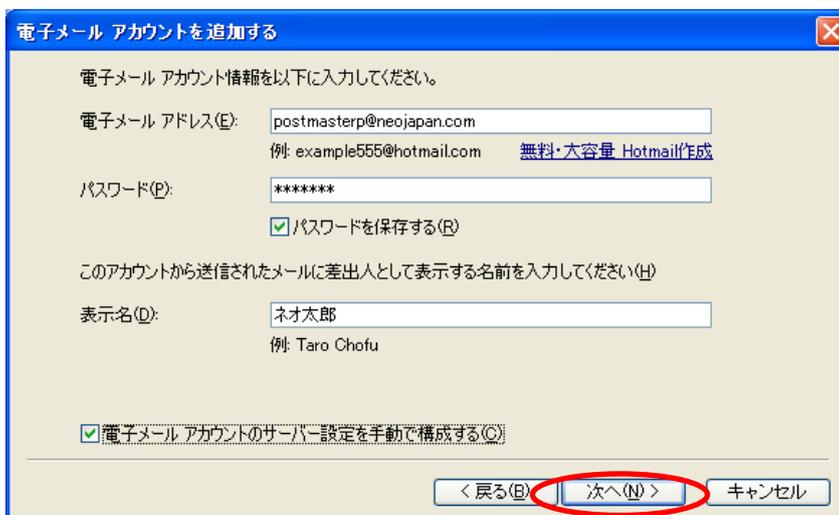
- ① Windows Live メールを起動し、メニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択してください。



- ② 「追加」ボタンをクリックし、サブメニューから「電子メールアカウント」を選択して「次へ」をクリックしてください。



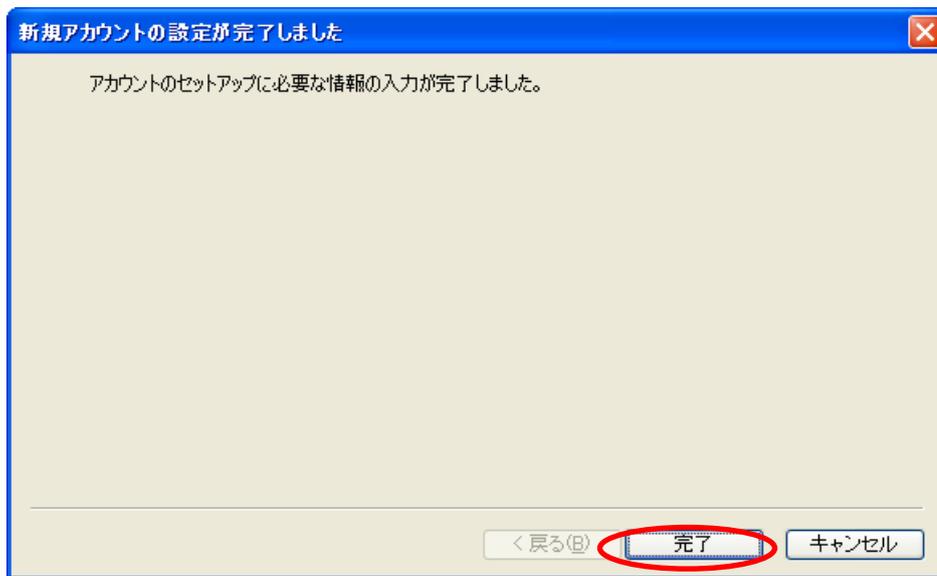
- ③ 電子メール アカウント情報登録画面になります。
- ④ 以下情報をご入力して「次へ」をクリックしてください。



- 電子メールアドレス:  
電子メールアドレスもしくはメールアドレスのエイリアス名(アドレス)を入力して下さい。
  - パスワード:  
メールのパスワードを入力してください。  
※「メール」機能にてアカウント設定時に登録したパスワードを入力します
  - 表示名:  
任意のお名前(お客様のお名前等)を入力してください。
  - 電子メールアカウントのサーバ構成を手動で構成する:  
チェックを入れてください。
- ⑤ 「電子メールサーバーの情報について」画面が表示されます。  
以下情報をご入力して「次へ」をクリックしてください。

- 受信メールサーバーの種類:  
「POP3」を選択してください。
- 受信メールサーバー:  
「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ポート番号:  
「110」を選択してください。
- 送信サーバー:  
「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ポート:  
「587」を入力してください。
- 送信サーバーは認証が必要:  
チェックを入れてください。

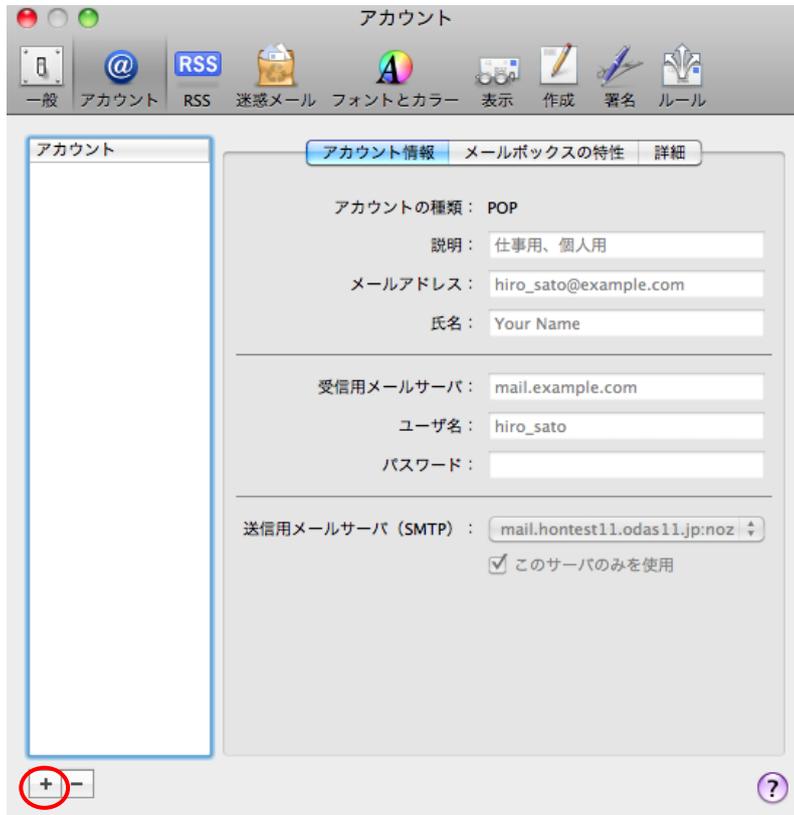
- ⑥ 「設定完了」画面が表示されます。



- ⑦ 「完了」ボタンをクリックしてください。  
以上で設定は完了です。

## (例 2)Mac Mail を使用した場合

- ① 「ツール」から「アカウント設定」を開きます。  
「+」ボタンをクリック。



- ② 次の画面に「氏名」「メールアドレス」「パスワード」を入力して「続ける」をクリックします。



- ③ 次の画面の「受信メールサーバ」を入力後、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」を入力されていることを確認して「続ける」をクリックします。

- ④ 「証明書を検証」画面が表示された場合は、そのまま「接続」をクリックします。

- ⑤ 次の画面の「送信メールサーバ」を入力して、「認証を使用」のチェックを入れ、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」が入力されていることを確認して「続ける」をクリックします。

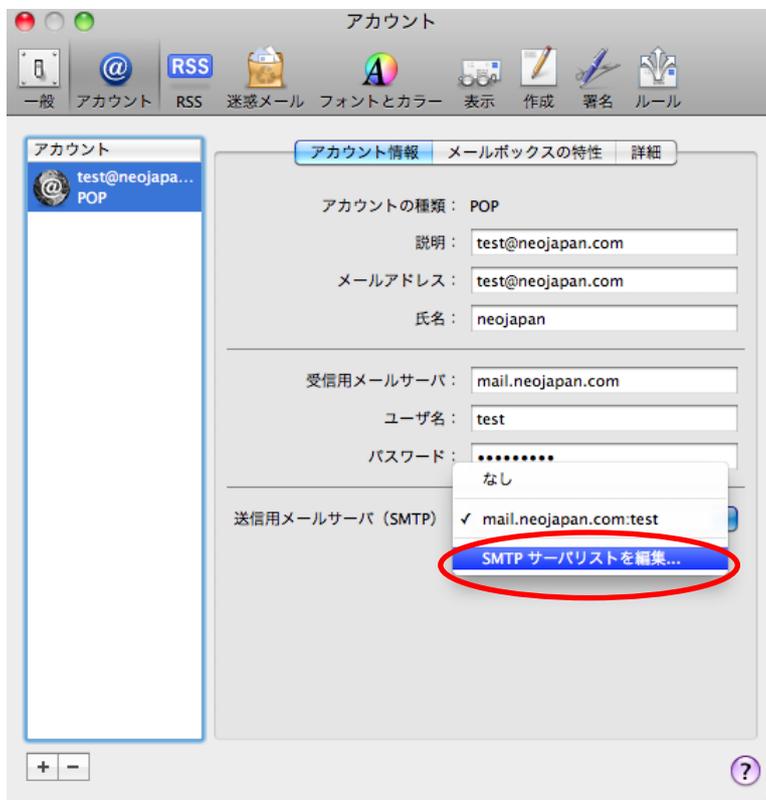
- ⑥ [証明書を検証]画面が表示された場合は、そのまま「接続」をクリックします。



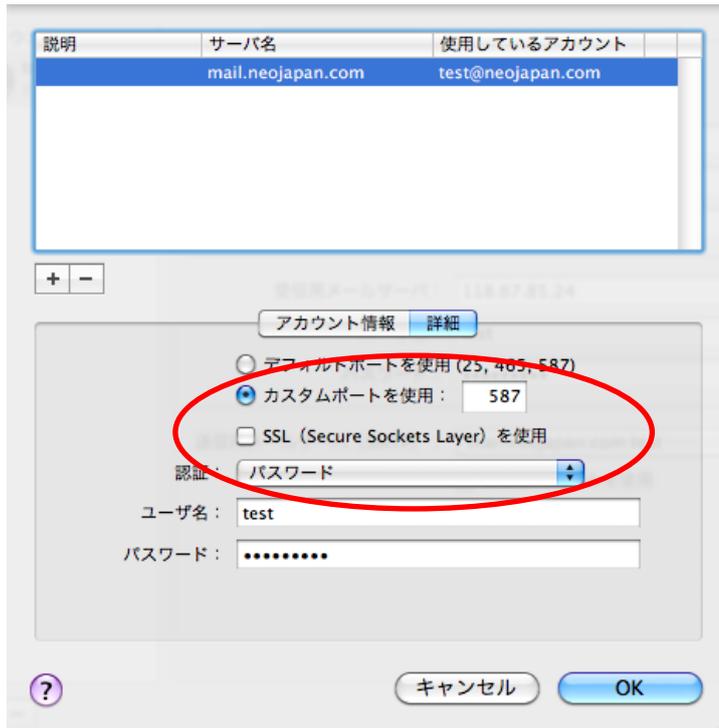
- ⑦ 次の画面で[アカウントをオンラインにする]のチェックが入っていることを確認して「作成」をクリックします。



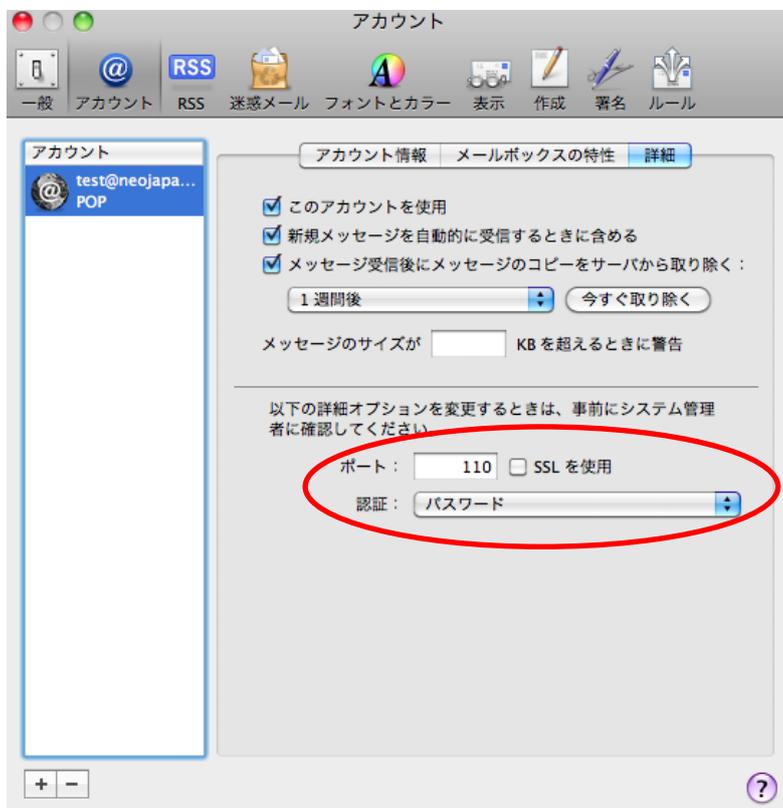
- ⑧ [送信用メールサーバ(SMTP)]のプルダウンメニューより「SMTP サーバリストを編集」をクリックします。



- ⑨ 次の画面の[詳細]タブを開き、[カスタムポートを使用]に「587」を入力して、[SSL を使用]のチェックが外れていることを確認後、[認証]は「パスワード」を選択して「OK」をクリックします。



- ⑩ [アカウント]の画面へ戻り、[詳細]ボタンをクリックします。[ポート]に「110」を入力して、[SSL を使用]のチェックを外します。[認証]は「パスワード」を選択してください。  
以上でアカウント設定は完了となります。



## 第9章 各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目

弊社「開通ご案内資料」と照らし合わせてご確認ください。\* P8 をご参照ください。

### 【ご注意!!】

弊社のサービスでは、SPAM（スパム）メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず事前（10分以内）に受信メールサーバによる認証を必要とさせていただいております。具体的にはメール送信の前に、メールの受信動作を行っていただければ弊社のサービスをご利用頂く正規ユーザーであることを確認でき、メール送信が行えるようになります。こちらにつきましてはセキュリティ上必ず必要な対応なのですが、このような認証作業を毎回行うのが面倒であるという場合には、以下の2つの方法をご利用ください。（詳細は弊社コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。）

1. インターネット接続プロバイダーのSMTPサーバを利用する。

インターネット接続を提供されているプロバイダーの方のSMTPサーバをお使いいただければ、POP認証は不要になります。

2. メールソフトを変更する。

ご利用のメールソフトを、メール送信の前に自動的にPOP認証を行う為のメール受信作業を行うことができるものに変更する。



\* 認証の有効時間を設定することができます。（例 OutlookExpress）

「ツール」→「オプション」→「全般」メニューの中の「新着メッセージをチェックする」にチェックを入れ、時間を設定します。

ここで設定した時間内であれば、認証を都度行う必要はありません。

### \* POP before SMTPについて

**POP before SMTP**とは、メールを送信する前に一度受信をすることにより、受信（POP）サーバにて認証を行う仕組みのことをいいます。（POP認証ともいいます。）

この認証により、送信側の特定を行うことが出来、Applitus Server VALUE のネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM（スパム）メールの発信を防ぐことができます。急増しているSPAM（スパム）メールなどの被害を防ぐため、同様にお客様のメールアドレス不正利用の防止を目的とした一手段となります。

お客様の作業としては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)Windows Live メールの場合は P.46 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。

### \* SMTP認証について

**SMTP認証**とは、メールを送信する際に、送信（SMTP）サーバと事前に認証を行う仕組みのことをいいます。

Applitus Server VALUE では、SMTP 認証の LOGIN、CRAM-MD5、PLAIN の3つの方法をサポートしています。

この認証により、送信側の特定を行うことが出来、Applitus Server VALUE のネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM（スパム）メールの発信を防ぐことができます。急増しているSPAM（スパム）メールなどの被害を防ぐため、同様にお客様メールアドレスの不正利用の防止を目的とした一手段となります。

お客様の作業としては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)Windows Live メールの場合 (LOGIN を使用)は P.46 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。

## 第10章 SPAM(スパム)対策に関する注意事項

弊社「Applitus PLESK」はSPAM(スパム)メールによる被害をくい止めるため、SPAM(スパム)フィルターを採用しております。SPAM(スパム)フィルター機能はお客様側では特に意識することなく、お使いいただくことができますが、下記の通りご注意いただく点がいくつかございます。

(1)お客様ご自身がSPAM(スパム)の発信元としてブラックリストに載らない様に、メールの利用には十分ご注意ください。

・詳細は、「**第1節. ブラックリストとは?**」をご参照ください。

(2)万が一ブラックリストに載ってしまった場合、メールの受信はできて送信ができないという現象が現れます。

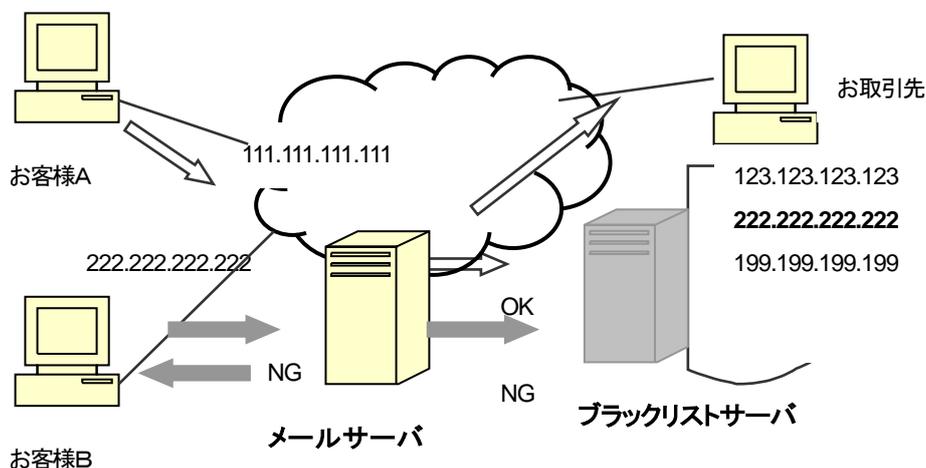
・「**第3節. ブラックリストに載ってしまったら?**」をご参照いただき、必要な対策を実施ください。

### \* SPAM(スパム)メールとは

SPAM(スパム)メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウイルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM(スパム)メールに含まれます。

これらSPAM(スパム)メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまいます。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM(スパム)メール被害を防ぐ為、POP before SMTPの認証方式を採用しております。また、SPAM フィルタを登録し、SPAM(スパム)メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。

### 第1節 SPAM (スパム) フィルターとは?



- ① メールサーバは、メール送信の要求を受けた際に、IPアドレスをブラックリストサーバに照会します。
- ② ブラックリストに載っていない場合、問題なく送信できます。(お客様Aからお取引先へのメール)
- ③ ブラックリストに載っていた場合、送信エラーとなり、メールを送信することができません。(お客様B)

## 第2節 ブラックリストとは？

SPAM(スパム)ブラックリストは常にアップデートされ、下記の様な場合、SPAM(スパム)発信元として発信元の IP アドレスをブラックリストに追加します。尚、お客様ご自身では該当する覚えがなくとも、同じ IP アドレスを過去に使用していたユーザーが、引き起こしていた可能性があります。

- (1) 不特定多数のアドレスにメールを送信し、多くのメールが宛先不明エラーで帰ってくる。
- (2) ウィルスにかかり、知らない間に(1)の現象が起きている。

ブラックリストに掲載されてしまうと、メールの受信はできるが送信はできないという現象が現れます。

下記の様な場合、SPAM(スパム)ブラックリストに掲載された可能性を疑ってください。

- (1) メールクライアントソフトの設定は一切変更していないのに、急にメールの送信ができなくなった。
- (2) 社内の他のクライアントも同じ現象が出ている。
- (3) ウィルスに罹った可能性がある。
- (4) SMTP エラー(コード 451)等のエラーメールが帰ってくる。

## 第3節 ブラックリストに載ってしまったら？

上記の様な現象が現れた場合、下記対策を実施ください。

- (1) インターネットとの接続に ADSL や ISDN 等、プロバイダからその都度 IP アドレスが割り当てられるサービスをご利用の場合、ルータの電源を OFF にし、20分から30分待ってから ON にして再度試してみてください。
  - (2) 上記でも改善されない場合、ご契約いただいているプロバイダに相談いただき、別の IP アドレスを取得してください。
  - (3) さらに上記でも改善されない場合、及び、プロバイダから固定でグローバル IP アドレスを取得している場合は、下記情報を当社コミュニケーションセンターまでお知らせください。当方よりブラックリストからはずしてもらう様に依頼します。
- ① 送信が出来なかった際にメールサーバから帰ってくるエラーメッセージ  
(転送でも、スクリーンショットでも可)。
  - ② お客様がインターネットとの接続に使っているグローバル IP アドレス。
  - ③ お客様のドメイン名
  - ④ 該当ブラックリストサーバ名

エラーメッセージ例(OutoLookExpress の場合)

```
SMTP がエラーを返しました。アカウント : '*****', サーバー : *****.com', プロトコル :
SMTP, サーバーの応答 : 'rblsmtpd: 222.222.222.222 rld 1
0186: 451 http://dsbl.org/listing?222.222.222.222', ポート : 25, セキュリティ
(SSL) : なし,
エラー番号 : 0x800CCC6)
```

ブラックリストサーバ名

ブラックリストに載ってしまった IP アドレス

---

## 第11章 お客様独自 CGI 及び PHP スクリプトの設置について

### 第1節 サーバ環境

本サービスは、お客様が独自にご用意の perl による CGI スクリプト・PHP スクリプトが利用可能なサーバ環境を提供しております。本サービスのサーバ環境は、以下通りとなっております。

#### [ハードウェア]

インテル・アーキテクチャ サーバ

#### [ソフトウェア]

OS : CentOS Ver.5.0  
Web サーバ : Apache 2.2.3 (with suEXEC)  
FTP サーバ : ProFTPD

#### [お客様用ディスク容量]

お客様のご利用可能なディスク容量は、ホスティング契約内(基本契約は 40GB)であれば、自由にご利用になります。なお、メールサーバ、Web サーバ(独自 CGI、PHP スクリプト設置環境を含む)は同一環境で動いております。

お客様ホスティング容量の追加変更は 5GB 単位で申し受けております。

詳しくはコミュニケーションセンター(0120-365-800)までお問い合わせ下さい。

## ■ コンテンツの転送方法

お客様独自 CGI は、契約内のホスティングサーバ領域をお使いいただきます。

CGI スクリプトの準備ができたなら、このサーバ領域にアップロードを行ってください。

お客様への「Applitus PLESK 登録完了通知書」に記されている、管理者 ID とパスワードでログインをして下さい。

ログイン後に表示される「**httpdocs (SSL を使用したいコンテンツは httpsdocs)**」というサブディレクトリの中にお客様のコンテンツを転送します。

サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

```
anon_ftp
bin
cgi-bin
conf
error_docs
httpdocs
httpsdocs
pd
private
statistics
subdomains
web_users
```

この **httpdocs** の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。CGI スクリプトは **cgi-bin** フォルダに設置します。

尚、CGI(SSI)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

## 第2節 CGI スクリプトのご利用について

本サービスでの CGI スクリプトの利用環境は以下のようになっております。

### [対応言語]

本サービスでは下記の3種類の言語のみに対応しております。

- Perl/Bourne
- Shell/C
- Shell

Perl のバージョンは Perl5.8.8 となっております。

標準で付属するモジュールも使用可能です(標準モジュールについては章末に記載)。また、その他別途モジュールが必要な場合は、お客様の領域内に設置していただければご利用は可能です。その場合はお客様の責任の上でご利用をお願い致します。※通常の CPAN から提供される perl モジュールのインストール(make などが必要)に関しましては、お客様側でのサーバへのインストールは行えませんのでご注意ください。

尚、上記以外の言語(C 言語等)はご利用いただけません事をご了承ください。

それぞれの言語を使用するのに必要なパスは以下の通りです。

Perl(ver.5.8.8)	/usr/bin/perl
Bourne Shell	/bin/sh
C Shell	/bin/csh

CGI スクリプトで Perl をご利用になる場合は、スクリプトの 1 行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述する必要があります。

### [その他のコマンドへのパス]

(1)メール送信プログラム(sendmail)へのパス

```
/usr/sbin/sendmail
```

(3) ディレクトリ内のファイルリスト取得コマンド(ls)へのパス

```
/bin/ls
```

(4) 日付取得コマンド(date)へのパス

```
/bin/date
```

(5) 文字列マッチ処理コマンド(awk)へのパス

```
/bin/awk
```

## [CGI ご利用の際の注意点]

- (1) 本サービスのサーバでは、suEXEC という仕組みを用いて CGI を動作させております。  
この為、スクリプト及びディレクトリの書き込み権限が所有者以外に設定されていると、  
CGI スクリプトが正常に動作致しませんので、以下のように設定することをお勧めします。

実行する CGI スクリプト	rwX r-x r-x 755
CGI を配置するディレクトリ	rwX r-x --- 750
データ用ファイル	rw- --- --- 600

また、本サービスではお客様の telnet 利用ができませんので、権限設定に関しては FTP ソフトウェアの機能か、コントロールパネルのファイルマネージャを利用して行ってください。

- (2) CGI スクリプト(テキストファイル)の転送の際は、アスキーモードで転送を行ってください。  
バイナリーモードで転送した場合、改行コードの問題により CGI スクリプトが正常に動作しない  
可能性があります。
- (3) アクセスログ・エラーログはコントロールパネルのログマネージャより確認できます。

### **ご注意！！**

尚、ご用意された CGI スクリプトのマニュアルによっては、データ用のファイルやディレクトリに対して、アクセス権限を 777(rwx rwx rwx)や 666(rw- rw- rw-)に設定することを指定している場合がありますが、これは第三者に対してファイルのアクセス権を付与している形となりますので、お客様独自 CGI として絶対にご利用なさらないようご注意ください。

### [お客様独自 CGI サーバ 標準モジュール一覧]

Config.pm	attrs.pm	Exporter.pm	diagnostics.pm
DynaLoader.pm	ops.pm	Fatal.pm	fields.pm
Errno.pm	re.pm	FileCache.pm	integer.pm
Fcntl.pm	AnyDBM_File.pm	FileHandle.pm	less.pm
GDBM_File.pm	AutoLoader.pm	FindBin.pm	lib.pm
IO.pm	AutoSplit.pm	SelectSaver.pm	locale.pm
NDBM_File.pm	Benchmark.pm	SelfLoader.pm	look.pl
O.pm	CGI.pm	Shell.pm	newgetopt.pl
ODBM_File.pm	CPAN.pm	Symbol.pm	open2.pl
Opcode.pm	Carp.pm	Test.pm	open3.pl
POSIX.pm	Cwd.pm	UNIVERSAL.pm	overload.pm
<del>POSIX.pm</del>	DirHandle.pm	autouse.pm	sigtrap.pm
SDBM_File.pm	Dumpvalue.pm	base.pm	strict.pm
Safe.pm	English.pm	blib.pm	subs.pm
Socket.pm	Env.pm	constant.pm	vars.pm

## 第3節 PHP スクリプトの利用について

Applitus PLESK では、PHP スクリプト言語をサポートしています。

ご自分のパソコンで作成した PHP スクリプトを ftp でサーバへ転送するか、コントロールパネルのファイルマネージャ機能を使用して作成してください。

PHP スクリプトは html ドキュメントと同じように、httpdocs 内に設置します。

PHP スクリプトに実行許可は必要ありません。

WEB サーバで PHP スクリプトを実行するためには、「.php」という拡張子を付ける必要があります。

**PHPのバージョンはPHP5.1.6 となっております。**

PHP 5.1.6 (cli) (built: Sep 20 2007 10:16:10)

Copyright (c) 1997-2006 The PHP Group

Zend Engine v2.1.0, Copyright (c) 1998-2006 Zend Technologies

---

## 第12章 “.htaccess”を用いた設定変更

お客様は、必要に応じて“.htaccess”というテキストファイルを作成することで、以下のようなサーバ設定の変更が可能になります。

### [デフォルトドキュメントの変更]

ユーザーがURLをディレクトリ名までしか入力しなかった場合に、初期設定状態では、index.htmlを表示しようとします。これを変更するためには、".htaccess"ファイルに以下のような記述を行います

#### **DirectoryIndex [指定するファイル名]**

例] DirectoryIndex top.html

上記の設定を行う事により、[index.html]ではなく[top.html]が表示されるようになります。

### [アクセス元によるアクセス制限]

".htaccess"ファイルを用いて特定のホスト(IP、ドメイン)からのアクセスを制御する事ができます。

特定のホストからのアクセスを拒否する場合は、

```
<Limit POST GET>
order allow,deny
allow from all
deny from xxxx.yyyy.com (ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
</Limit>
```

特定のホストからのみアクセスを許可する場合は

```
<Limit POST GET>
order deny,allow
deny from all
allow from xxxx.yyyy.com(ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
</Limit>
```

また、ユーザー認証に関する設定が必要な場合は、コントロールパネルの「ディレクトリ」から行うことができます。

### [MIME タイプの追加]

Contentの種類を追加したい場合には、".htaccess"ファイルに以下の様な記述を行うことで有効になります。

#### **AddType (Contentの種類) (拡張子)**

### [cgi-bin 以下で html ファイル等を表示させる]

下記のような設定を.htaccess に記述し、cgi-bin フォルダに設置することで、cgi-bin フォルダ内に設置したhtmlファイル等がブラウザから閲覧可能になります。**AddHandler text/html .html .htm .txt .css**

---

## 第13章 スクリプト設置に関する注意事項

本サービスを利用するにあたり、以下の事柄についてご注意をお願い致します。

### **[本サービス利用の制限及び停止]**

以下の実行に関しては、高負荷もしくはセキュリティ的問題の原因となる可能性がありますので、当該スクリプトを発見した場合には本サービスの停止を致します。

- 任意のコマンドを実行できる CGI(SSI)
- 1 回の実行時間が通常時で処理に 10 秒以上かかる CGI
- 1 回の実行で、5 個以上のプロセスを生成する CGI
- 1 秒間に 3 回以上呼ばれることがあるような CGI(チャット CGI など)

---

## 第14章 おかしいな? と思ったら(Q&A)

「Applitus PLESK」ご利用にあたり、よくお受けする質問をまとめました。「おかしいな?」と思ったら、まずは下記FAQをご参照ください。尚、下記内容は適宜アップデート致します。

### 第1節 管理画面について

- 【Q1】 Applitus PLESK にログインしようすると「ログイン情報が正しくありません。」というエラーメッセージが表示され、ログインすることができません。
- 【A1】 ブラウザのお気に入りに登録されている Applitus PLESK のリンクを右クリックし、プロパティを選択してください。Webドキュメントタグの URL 欄にて「https://XXX.odasX.jp:8443/」以降に文字列が挿入されているかどうかをご確認ください。入力されている場合は、削除していただけますようお願いいたします。また、Cookie の削除とキャッシュの削除も合わせて実施してください。
- 【Q2】 URL を正しく入力しても管理画面が表示されません。
- 【A2】 ファイアウォールやプロキシサーバ経由でインターネットに接続されている場合は、直接インターネットに接続できる環境から接続いただくか、ファイアウォールやプロキシサーバの設定をポート8443が通る様に変更する必要があります。

---

## 第2節 メールについて

【Q1】 メールの送受信を行うことができません。

【A1】 まずはメールを送受信できないのが、特定のユーザー様だけなのか、全てのユーザー様なのかをご確認ください。

＜全てのユーザー様においてメールの送受信が行えない場合＞

お客様のネットワーク環境からインターネットに接続できるかをご確認ください。インターネットに接続できない場合は、ネットワーク機器に不具合が発生している可能性がございますので、そちらをご確認ください。インターネットに接続できる場合は、Applitus PLESK 上でメールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。有効になっていてメールの送受信が行えない場合は、メールソフトの設定の受信メールサーバと送信メールサーバをサーバ名ではなく、IP アドレスで入力してメールの送受信が行えるかどうかをご確認ください。

＜特定のユーザー様だけの場合＞

ユーザー様にご利用されている PC からインターネットに接続できるかをご確認いただくとともに、マニュアルの P45～のメールソフトの設定例を参考にしてメールソフトの設定内容をご確認ください。インターネットに接続できない場合は、PC のネットワークの設定および、ネットワーク機器の不具合の有無をご確認ください。

【注意】

上記で記載させて頂いた以外にもセキュリティ対策ソフトによってメールの送受信が行えなくなるというケースもございます。セキュリティ対策ソフトを導入されている場合は、マニュアル及びメーカー様にもご確認いただけますようお願いいたします。

【Q2】 容量の大きいメールを送信することができません。

【A2】 Applitus PLESK から一度に送信できるメールの容量は 15MB となっております。送信したメールのサイズをご確認いただき、15MB を超えている場合は、ファイルをいくつか分割する、もしくは、ファイルを圧縮することでファイルサイズを減らして頂き、一度に送信するメールの容量を減らして頂けますようお願い致します。また、15MB を超えていない場合、送信先のメールサーバの一度に受信できるメール容量を超えている可能性が考えられます。

【Q3】 メールを受信することができません。

【A3】 PLESK 上で、メールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。また、受信メールサーバ上にメールヘッダが不正、もしくは破損しているメールが存在し、メールを受信することができない可能性があります。受信メールサーバ上(POP サーバ上のメール BOX)にある任意のメールを imap 対応のメールソフト(outlook 等)で imap アカウント設定を実施して頂き、該当メールをメールサーバ上から削除してください。

※削除したメールについては復活させることができませんので、十分にご注意願います。

【Q4】 特定のメールアドレスもしくはドメインからのメールを届かないように設定したい。

【A4】 本マニュアルの P36～に記載されているスパムフィルタの機能を利用することで設定することが可能です。詳細につきましては、当該ページをご参照ください。

【Q5】 転送元にメール残さず、転送先で受信をしたい。

【A5】 管理画面で転送元のメールボックスのチェックを外してください。

yamada@neojapan.com 上へ

全般 転送 メールエイリアス 自動返信 スпамフィルタ

メールボックスを設定して、それにアクセスするためのパスワードを指定します

メールアドレス \* @neojapan.com

メールボックス  メールボックスを、サービスプロバイダ指定のサイズに設定する(無制限)  
 新しいサイズの指定  KB

割り当て先 なし

パスワード   (?)  
ユーザアカウントにメールアドレスが割り当てられていない場合は、このパスワードが使用されます。ユーザアカウントに割り当てられたメールアドレスはユーザアカウントのパスワードで動きます

パスワードを確認する

---

\*必須フィールド

【Q6】 メールを送信(送信時の認証)に 30 秒程度かかる

【A6】 「スパムメール」防止のために、幾つかの ISP 事業者では、ISP が提供しない第三者のメールサービス(レンタルサーバ等)へのメール送信行為をチェックしています(送信時認証が行われているかどうかなど)。そのため ISP 側でのチェックに 30 秒ほどかかる場合が報告されています。正しく送信される場合には、障害ではありません。

---

### 第3節 ウェブについて

- 【Q1】 HPはどこにアップロードすれば良いですか？
- 【A1】 httpdocs というフォルダにアップロードしてください。トップページには index.html という名前をつけてください。あらかじめ同じ名前のファイルがアップロードされていますが、システムが生成するデフォルトページですので、上書きしてしまってもかまいません。
- 【Q2】 HPをアップロードしたがファイルが正常に表示されない。
- 【A2】 アップロードされているフォルダ名とファイル名をご確認ください。フォルダ名とファイル名が半角の英数文字で入力されていない場合、正しく表示されない可能性があります。半角の英数文字で入力されている場合で正しく表示されていない場合は、リンク元の HTML ファイルのソースで、リンクの設定が正しく記載されているかどうかをご確認ください。
- 【Q3】 FTP ソフトを使って httpdocs、httpsdocs、cgi-bin 以外のフォルダへアップロードしようとしたところ転送中にエラーが発生します。
- 【A3】 FTP ソフトを使ってお客様側でアクセスできるフォルダは httpdocs、httpsdocs、cgi-bin のみになります。

## 第15章 お問い合わせ窓口

## 〈コミュニケーションセンター〉

Applitus PLESK のご利用に関して、お困りになった際にはコミュニケーションセンターをご利用ください。操作に関する技術的なご質問及びご契約関係のご質問をお受け致します。

※但し、お客様が独自に作成されたプログラムの動作等に関するご質問にはお答え致しかねますので、予めご了承下さい。

コミュニケーションセンター	
電話番号	: <b>0120 - 365 - 800</b> (通話料無料) 受付時間/平日 9:00~12:00、13:00~18:00
F A X	: <b>045-640-5918</b>
電子メール	: <b>support@applitus.com</b>

お問い合わせの際にはお客様名・お問い合わせご担当者名・お客様番号を確認させていただきます。FAX・電子メールでお問い合わせの際にも必ずお客様名・お問い合わせ担当者名・お客様番号をご記入頂きますようお願いいたします。

# NEOJAPAN

サービス仕様ならびに本マニュアル内容は、予告無く変更される場合があります。

本マニュアルの著作権は、株式会社ネオジャパンに帰属し、記載の事項については、無断転載、抜粋を禁じます。

株式会社ネオジャパン

# NEOJAPAN